



E-Mail Campaign Manager 2.1 Sitecore CMS 6.6 以降

管理者および開発者ガイド

管理者および開発者を対象としたクイック スタート ガイドと設定リファレンス

目次

Chapter 1	イントロダクション.....	5
Chapter 2	クイック スタート ガイド	7
2.1	モジュールの設定	8
2.1.1	「既定の設定」を設定	8
2.1.2	メッセージ転送エージェントの設定.....	9
	Sitecore App Center の電子メール配信サービスを MTA として使用する	9
	カスタムの MTA の使用	9
2.2	購読フォームをページに追加する	10
2.2.1	購読フォームのコントロール プロパティ	10
2.3	ECM ユーザーにセキュリティ ロールを割り当てる	12
Chapter 3	設定マニュアル	13
3.1	Sitecore アプリケーション センターの設定	14
3.2	配信状態通知の収集.....	15
	Sitecore MTA の使用.....	15
	カスタムの MTA の使用	16
3.3	専用サーバーの設定	17
3.4	拡張された環境でのモジュールの設定	19
3.4.1	マルチサーバー環境.....	19
3.4.2	コンテンツ デリバリー サーバー上にモジュールをデプロイする.....	19
3.5	ECM と MTA 間の接続の確認	21
3.6	ECM 2.1 にデザイン インポーターをインストールする	23
3.7	複数言語メッセージの発送を有効にする	24
Chapter 4	パフォーマンスのチューニング	25
4.1	Performance Measurement Tool を使用する	26
4.2	エミュレーション モードを使用したパフォーマンスのテスト	27
Chapter 5	ECM 設定の参照	29
5.1	Sitecore.EmailCampaign.config	31
5.2	グローバル設定	36
5.2.1	共通テキスト	37
5.2.2	タスク.....	37
5.2.3	システム.....	37
	App Center	37
	ルート リスト.....	37
	セキュリティ キー	37

5.3	マネージャー ルートの設定	38
5.3.1	メッセージの生成	38
5.3.2	購読の管理	39
5.3.3	実装の詳細	39
5.3.4	配信状態通知	40
5.3.5	既定のメッセージ ヘッダー	41
5.4	メッセージ タイプの設定	42
5.4.1	メッセージ	42
	メッセージ タイプの挿入オプションの設定	42
5.4.2	購読メッセージ	43
	購読メッセージ タイプの挿入オプションの設定	44
5.4.3	トリガーされたメッセージ	46
	トリガーされたメッセージの挿入オプションの設定	46
5.5	メッセージの設定	48
5.6	ECM アクション	49
5.6.1	エンゲージメント オートメーション アクション	49
5.6.2	電子メールを送信ルール エンジン アクション	49
5.7	マルチサイト環境での ECM の使用	50
5.7.1	サイト間でマネージャー ルートを区別する方法	50
5.8	パーソナライゼーションとオンライン メッセージ バージョン	52
5.8.1	個人用設定のトークンの処理サブレイアウト	53
5.9	バウンスメール(返送されたメール)と最大未配達メール設定	54
5.10	メッセージのエンゲージメント プラン	55
5.11	ECM セキュリティ ロール	57
5.12	メッセージのレイアウトとレンダリングのデザイン	59
5.13	Sitecore CMS Web.config 設定に伴う問題	60
Chapter 6	実装の詳細	61
6.1	送の概要	62
6.1.1	Sitecore MTA の使用	62
6.1.2	カスタムの MTA の使用	65
6.2	送プロセス	67
6.2.1	DispatchNewsletter パイプライン	67
	CheckPreconditions	67
	MoveToProcessing	67
	DeployAnalytics	68
	QueueMessage	68
	LaunchDedicatedServers	68

SendMessage	69
MoveToSent	69
NotifyDispatchFinished	69
FinalizeDispatch	69
6.2.2 SendEmail パイプライン	70
FillEmail	70
SendEmail	70
Chapter 7 アドバンスド ユーザー ガイド	71
7.1 特定のイベントが発生した場合にメッセージを送信する	72
Chapter 8 ヒントと秘訣	76
8.1 ECM からのリクエストの検出	77
8.2 IIS アクセス	78
8.3 \$name\$ トークンの使用方法	79
8.4 コード サンプル	80
8.4.1 シンプルなカスタム電子メールの作成	80
8.4.2 ニュースレターの購読	80
8.4.3 ECM メッセージを 1 通送信	81

Chapter 1

イントロダクション

本ドキュメントは、Sitecore の管理者および開発者を対象に作成されています。モジュールの編成、設定、チューニング方法についての情報を含んでいます。

エンド ユーザーの手順については、『ECM Marketer's Guide』を参照してください。

このドキュメントには次の章から構成されます。

- **Chapter 1 — イントロダクション**
本ガイドのイントロダクションです。
- **Chapter 2 — クイック スタート ガイド**
E-Mail Campaign Manager のクイックセットアップのために必要な手順について説明します。クイックセットアップはモジュールを使用するための最小設定です。
- **Chapter 3 — 設定マニュアル**
エンド ユーザーによるモジュールの使用を可能にするために実行が必要なアクションについての実践的なアドバイスです。
- **Chapter 4 — パフォーマンスのチューニング**
モジュールのパフォーマンスを効果的に最適化するための重要なテクニックについて説明します。
- **Chapter 5 — ECM 設定の参照**
モジュールの構成設定について説明します。この章にはモジュールの拡張と変更に関係する情報も含まれます。
- **Chapter 6 — 実装の詳細**
メッセージ配信プロセスについて詳しく説明します。
- **Chapter 7 — アドバンスド ユーザー ガイド**

特定のイベントが発生した際にメッセージを送信するようモジュールを構成するために、必要なアクションについて説明します。

- **Chapter 8 — ヒントと秘訣**

ECM のリクエストと IIS ユーザー認証についての追加情報を説明します。

Chapter 2

クイック スタート ガイド

この章では、E-Mail Campaign Manager のクイックセットアップの方法について説明します。クイックセットアップは、モジュールを使用するための最低限の設定です。

この章には次のセクションがあります。

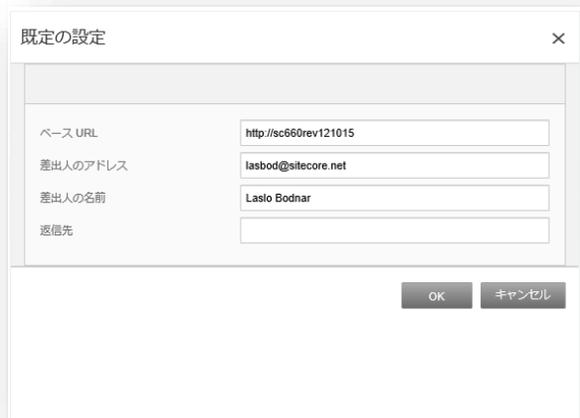
- モジュールの設定
- 購読フォームをページに追加する
- ECM ユーザーにセキュリティ ロールを割り当てる

2.1 モジュールの設定

ECM をインストールした後、サイトのスマート パブリッシュを行う必要があります。スマート パブリッシュを行った後は、デフォルト設定とメッセージ転送エージェントを設定する必要があります。

2.1.1 「既定の設定」を設定

モジュールのパッケージをインストールすると、「既定の設定」を設定します。



既定の設定には次の項目が含まれます。

- ベース URL
これは必須設定です。ベース URL に ECM サーバーの Web サイト アドレスを入力します。この URL は電子メール メッセージのすべてのリンクで使用されます。
- 差出人のアドレス
これは必須設定です。差出人の電子メール アドレスを入力します。
- 差出人の名前
これはオプション設定です。差出人の名前を入力します。
- 返信先
これはオプション設定です。返信が送信される電子メール アドレスを入力します。

後で「既定の設定」を編集するには、ECM アプリケーションの [最近発送したメッセージ] で [既定の設定] をクリックします。



2.1.2 メッセージ転送エージェントの設定

SAC のメッセージ転送エージェント (MTA) またはカスタムの MTA を使用することができます。

Sitecore App Center の電子メール配信サービスを MTA として使用する

ECM モジュールは、デフォルトで外部の MTA を使用します。MTA は、クライアント サーバー アプリケーションのアーキテクチャを使用して、コンピューターから別のコンピューターへ電子メール メッセージを転送するソフトウェアです。

モジュールは Sitecore App Center から必要なすべての SMTP 設定を取得します。SAC の設定についての追加情報は、「Sitecore アプリケーション センターの設定」セクションを参照してください。

MTA 接続をテストすることができます。接続のテスト方法についての追加情報は、「ECM と MTA 間の接続の確認」セクションを参照してください。

カスタムの MTA の使用

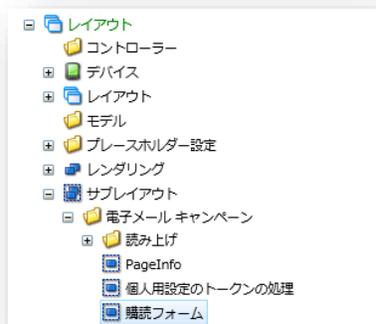
カスタムの MTA を使用する権利を購入している場合、Sitecore.EmailCampaign.Config ファイルで `UseLocalMTA` 設定を `true` に設定する必要があります。

```
<setting name="UseLocalMTA" value="true" />
```

次に、必要なすべての SMTP 設定を Sitecore.EmailCampaign.Config ファイルの `<sitecore>/<settings>` セクションで設定する必要があります。

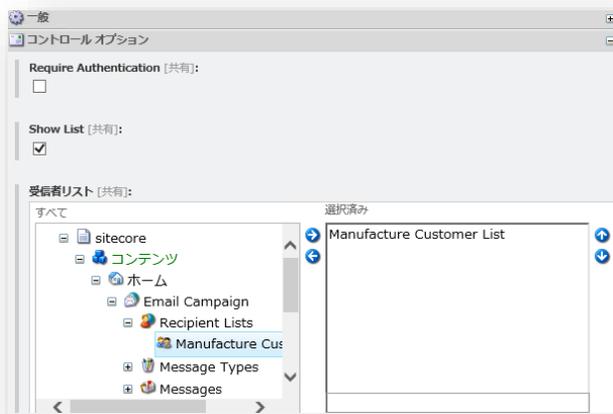
2.2 購読フォームをページに追加する

ECM モジュールは、ページに追加できる購読フォームのコントロールを含んでいます。デフォルトでは、このコントロールは `/sitecore/layout/Sublayouts/Email Campaign/Subscription Form` に保存されています。



2.2.1 購読フォームのコントロール プロパティ

購読フォームのコントロールには、次のモジュール特有のプロパティがあります。



Require Authentication

このチェックボックスを選択した場合、Web サイトにログインしているユーザーのみがフォーム コントロールを表示することができます。未認証のユーザーには“購読の設定を変更するにはログインしてください。”というメッセージが表示されます。

表示されるテキストを編集する場合は、次のアイテムを開きます。

`/sitecore/system/Modules/Email Campaign Manager/Common Text/Please Login`

Show List

このチェックボックスを選択した場合、[受信者リスト] フィールドで指定された受信者リストが Web サイト上に表示されます。



ユーザーが Web サイト上で **購読** をクリックした場合、選択したメーリング リストに追加され、選択しなかったリストからは削除されます。たとえば、ユーザーがメーリング リストを選択せずに **購読** をクリックした場合、すべてのメーリング リストから登録が取り消されます。

Show List チェックボックスを選択しなかった場合、受信者リストは Web サイト上に表示されません。ユーザーがフォーム上で **購読** をクリックした場合、そのユーザーはコントロールの [受信者リスト] フィールドで指定されたすべての受信者リストに登録されます。

受信者リスト

このフィールドを使って現行の購読フォーム コントロールの受信者リストを指定します。

サイト上の (1 つもしくは複数の) マネージャー ルートの配置場所は、/sitecore/system/Modules/Email Campaign Manager/System/Root List アイテムで定義されます。モジュールは自動的にこのアイテムを更新します。

2.3 ECM ユーザーにセキュリティ ロールを割り当てる

マーケターに ECM アプリケーションを使用させるには、次のどちらかのロールをマーケターに割り当てる必要があります。

- ECM Users
- ECM Advanced Users

これらのロールは、ECM を使用するための十分な権限をユーザーに提供します。

CMS ソリューションでロールインロール (ロールをロールに所属させる機能) が無効化されている場合、さらに 2 つの Sitecore ロールを割り当て、ユーザーにメッセージの本文を編集できるようにする必要があります。

- sitecore¥Sitecore Client Users
- sitecore¥Sitecore Client Authoring

ECM ロールについての追加情報は、「ECM セキュリティ ロール」セクションを参照してください。

Chapter 3

設定マニュアル

この章では、エンドユーザーがモジュールを使用できるように、管理者が実行する必要があるアクションについて説明します。

この章には次のセクションがあります。

- Sitecore アプリケーション センターの設定
- **配信状態通知**の収集
- 専用サーバーの設定
- 拡張された環境でのモジュールの設定
- ECM と MTA 間の接続の確認
- ECM 2.1 にデザイン インポーターをインストール
- 複数言語メッセージの発送を有効

3.1 Sitecore アプリケーション センターの設定

電子メール キャンペーン メッセージの送信を可能にするには、SAC を設定する必要があります。SAC の詳細な設定手順については、SDN の『[Getting Started with Sitecore App Center](#)』を参照してください。

3.2 配信状態通知の収集

電子メールの配信中に複数の個所でエラーが発生する場合があります。差出人は、差出人のメール サーバー、または受信者のメール サーバーから返送されたメッセージを受け取る場合があります。サーバーが配信メッセージを受け取った場合、配信が失敗したときは DSN (配信状態通知) を配信する必要があります。

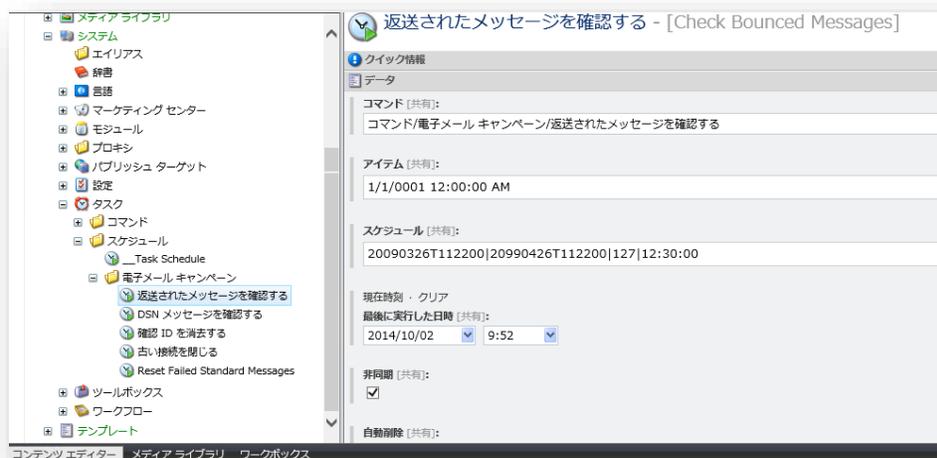
Sitecore MTA を使用するかどうかに応じて、モジュールは次の 2 つのうちどちらかのモジュールを使用して DSN メッセージを収集します。

Sitecore MTA の使用

Sitecore MTA を使用する場合、SAC は DSN メッセージを収集し、それらをモジュールに渡します。

次のロケーションに、**返送されたメッセージを確認する**というスケジュールされたタスクがあります。

/sitecore/system/Tasks/Schedules/Email Campaign/Check Bounced Messages



このスケジュールされたタスクは、SAC が返送されたメッセージをいつ、どのように確認し、ECM に渡すのかを定義します。

[スケジュール] フィールドで定義されたとおりに、このタスクは毎日 12:30 に開始されます。

[アイテム] フィールドには、SAC が最後に DSN メッセージを収集した時間が含まれます。

このタスクが開始されると、タスクは **[アイテム]** フィールドで指定された時間から、式 “現在日時 - 24 時間” までの DSN メッセージを収集します。

たとえば、7 月 5 日に初めてタスクを開始する場合、タスクは最初の履歴から 7 月 4 日までの情報を収集します。**[アイテム]** フィールドは 7 月 4 日の値を含みます。このタスクが翌日開始される場合、タスクは 7 月 6 日に 7 月 4 日～ 7 月 5 日までの情報を収集します。**[アイテム]** フィールドは 7 月 5 日を含む値になります。

カスタムの MTA の使用

カスタムの MTA を使用する場合、モジュールは **マネージャー ルート** の設定を使用し、DSN メッセージを収集します。

E-Mail Campaign Manager は、解析のために DSN メッセージを収集します。DSN メッセージを収集するために、モジュールは **マネージャー ルート** の **[配信状態通知]** セクションの **[Return Address]** フィールドで指定されたメールボックスに接続します。

次の設定アイテムは、モジュールが Return Address で指定されたメールボックスの 電子メールから DSN メッセージを確認する頻度を決定します。

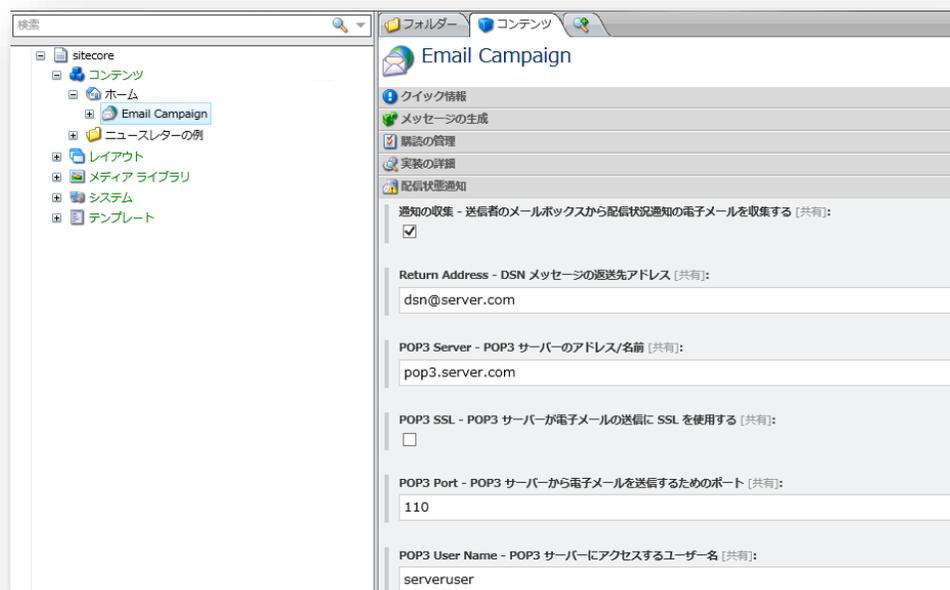
/sitecore/system/Tasks/Schedules/Email Campaign/Check DSN Messages

モジュールはデフォルトの設定で 1 日に 1 度 DSN メッセージを収集します。

マネージャー ルート で **配信状態通知** を設定することができます。

モジュールを設定して DSN メッセージを収集するには、次の手順に従います。

1. **マネージャー ルート** で、**[コンテンツ]** タブの **[配信状態通知]** セクションの **[通知の収集]** チェックボックスを選択し、POP3 サーバー設定を入力します。



[配信状態通知] セクションのフィールドについての追加情報は、「**配信状態通知**」を参照してください。

これでモジュールは送信者のメールボックスに接続し、DSN メッセージを集めることができます。

3.3 専用サーバーの設定

E-mail Campaign Manager は、専用サーバーを使用して、メッセージの生成と送信プロセスの速度を速めることができます。

すべての専用サーバーは、Master サーバーからの Sitecore CMS インストールのコピーを含みます。これによって、専用サーバーは Master サーバーと同じ方法でメッセージを生成することができます。すべてのサーバーは同じデータベースを共有します。データベースサーバーはデータベースへのリモート アクセスをサポートする必要があります。

専用サーバーを設定するには、次の手順に従います。

1. Sitecore CMS インストールを専用サーバーにコピーします。ファイル システム全体をコピーする必要がありますが、データベースをコピーする必要はありません。
2. 専用サーバー上で、Sitecore を開始するために必要なフォルダーの権限を設定します。
3. 専用サーバー上の `ConnectionStrings.config` ファイルで、接続文字列が Master サーバーが使用するデータベースと同じデータベースに接続していることを確認します。
4. 専用サーバー上の `Web.config` ファイルで、絶対パス指定されている項目を編集して正しい配置場所を指定します。たとえば、`dataFolder` 設定など。
5. 専用サーバー上で `Sitecore.EmailCampaign.config` ファイルから `<scheduling>` セクションを削除します。
6. 専用サーバー上で、Sitecore を開始し、動作することを確認します。
7. Master サーバーで `Sitecore.EmailCampaign.config` ファイルの `<DedicatedServers>` セクションに、専用サーバーのアドレスを入力します。設定例：

```
<DedicatedServers>
  <address value="http://ecmdedicatedserver.net" />
</DedicatedServers>
```

メモ

専用サーバーの IP アドレスをアドレス設定に入力した場合 (たとえば、`<address value="http://10.38.41.24" />`)、専用サーバーで Sitecore はデフォルトの Web サイト上で動作する必要があります。

これで専用サーバーが設定されました。

この方法で複数の専用サーバーを設定することができます。

Master サーバー上で発送プロセスを開始する場合、同じプロセスが専用サーバー上でも開始されます。各サーバーはアナリティクス データベースの購読者リストにアクセスし、未発送の購読者のひとつを取得し、メッセージを生成し、そのメッセージをサーバーに設定された MTA に渡します。リストに購読者が残っている限りこのプロセスは継続されます。

ヒント

Sleep 設定を使って Master サーバーと専用サーバー間の負荷を調整します。*Sleep* 設定についての追加情報は、SDN の『[ECM Tuning Guide](#)』を参照してください。

3.4 拡張された環境でのモジュールの設定

このセクションでは、拡張された環境 (コンテンツ マネージメント (CM) サーバー 1 台、コンテンツ デリバリー (CD) サーバーを 1 台以上) で動作するための、モジュールの設定方法について説明します。

3.4.1 マルチサーバー環境

マルチサーバー環境を構築することによって ECM モジュールを拡張することができます。

マルチサーバー環境を設定するには、次の手順に従います。

1. CM サーバー上に SPEAK および ECM パッケージをインストールします。モジュールのインストールについての追加情報は、SDN の『[インストール ガイド](#)』を参照してください。
2. すべての CD サーバー上にモジュールをデプロイします。
3. ベース URL 設定が CD サーバーを指定していることを確認します。
4. CD サーバーへのアナリティクス デプロイメントを自動化します。追加情報は、セクション 6.2.1 「[DeployAnalytics](#)」を参照してください。

重要

メッセージを送信する前にパブリッシュしてください (オンライン バージョンを有効化するため)。

3.4.2 コンテンツ デリバリー サーバー上にモジュールをデプロイする

CM サーバー上にモジュールがインストールしたら、すべての CD サーバー上にデプロイします。

コンテンツ デリバリー サーバー上にモジュールをデプロイするには、次の手順に従います。

1. Master データベースをすべてのコンテンツ デリバリー サーバーにパブリッシュします。Master データベースのパブリッシュについての追加情報は、ドキュメント『[拡張性ガイド](#)』セクション 3.1 「[リモート パブリッシュ ターゲットを構成する](#)」を参照してください。
2. CD サーバー上にモジュール ファイルをデプロイします。

CD サーバーにクライアント インターフェースがない場合、次のファイルとフォルダーを CM サーバーからすべての CD サーバーにコピーします。

```
\App_Config\Include\Sitecore.EmailCampaign.config
\bin\Sitecore.EmailCampaign.dll
\layouts\EmailCampaign\*
\sitecore\ConfirmSubscription.aspx
\sitecore\RedirectUrlPage.aspx
\sitecore\Unsubscribe.aspx
\sitecore\UnsubscribeFromAll.aspx
\sitecore modules\shell\EmailCampaign\*
```

```
\sitecore modules\web\EmailCampaign\*  
\xsl\EmailCampaign\*
```

CD サーバーにクライアント インターフェースがある場合は、インストール ウィザードを使用して CD サーバー上に SPEAK と ECM パッケージをインストールします。

3. すべての CD サーバー上で、次の接続文字列を `connectionstrings.config` ファイルに追加します。

```
<add name="EmailCampaignClientService"  
connectionString="url=http://<master_server>/sitecore%20modules/web/emailca  
mpaign/ecmclientservice.asmx;timeout=60000" />
```

`<master_server>` は、Master サーバーのアドレスを表します。たとえば、`www.site.net` または `10.38.41.30` など。

4. `\App_Config\Include\Sitecore.EmailCampaign.config` ファイルで、次の行を削除します。

```
<initialize>  
  <processor  
type="Sitecore.EmailCampaign.Presentation.UI.Pipelines.Loader.InitializePresenterBinder,  
Sitecore.EmailCampaign.Presentation.UI" />  
  <processor  
type="Sitecore.EmailCampaign.Presentation.UI.Pipelines.Loader.ConfigurePresenterBinderCon  
tainer, Sitecore.EmailCampaign.Presentation.UI" />  
</initialize>
```

さらに次も削除します。

```
<scheduling>  
  <agent type="Sitecore.Tasks.DatabaseAgent" method="Run" interval="00:00:59"  
hint="ECM">  
    <param desc="database">master</param>  
    <param desc="schedule root">/sitecore/system/modules/e-mail campaign  
manager/tasks</param>  
    <LogActivity>true</LogActivity>  
  </agent>  
</scheduling>
```

3.5 ECM と MTA 間の接続の確認

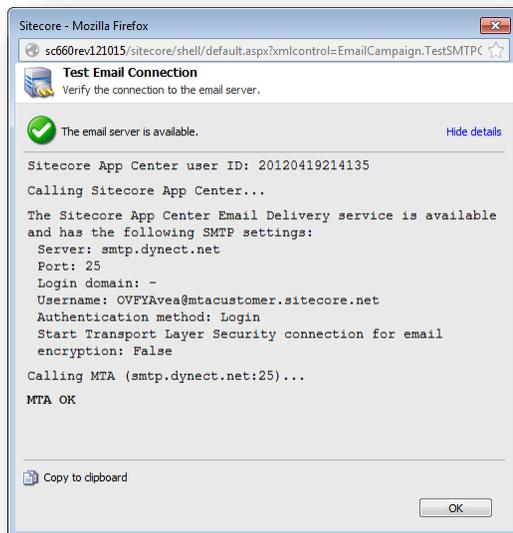
SAC によって提供された MTA を使用する場合、またはローカル (カスタム) の MTA サーバーを設定している場合は、その接続をテストすることができます。

接続をテストするには、次の手順に従います。

1. **E-mail Campaign Manager** を開始します。
2. **E-mail Campaign** のルート アイテムを選択します。
3. **[電子メール]** タブの **[サーバー]** グループで、**[テスト接続]** をクリックします。



モジュールは **[電子メールのテスト接続]** ダイアログボックスを開始します。**[詳細を表示]** をクリックし、詳細情報を確認します。



ダイアログボックスに含まれる情報を確認します。

- **Sitecore App Center ユーザー ID**

```
Sitecore App Center user ID: 20120419214135
```

この行は SAC サービスの ユーザー ID を示します。

- **Sitecore App Center を呼び出しています**

```
Calling Sitecore App Center...
The Sitecore App Center Email Delivery service is available
and has the following SMTP settings:
Server: smtp.dynect.net
Port: 25
Login domain: -
Username: OVFYAvea@mtacustomer.sitecore.net
Authentication method: Login
Start Transport Layer Security connection for email
encryption: False
```

MTA 設定を取得するために、ツールは SAC に接続し、呼び出しが成功した場合は取得した設定をリストに表示します。呼び出しが成功しなかった場合は、ツールはエラー メッセージと問題を解決するためのヒントを表示します。

```
Calling Sitecore App Center...
Your Sitecore App Center credentials are incorrect, or
you do not have a valid license. Correct your
credentials in Sitecore App Center or contact Sitecore
Customer Service.
Solution: Check the alerts and configuration settings in
the Email Delivery Service in Sitecore App Center.
```

- **MTA を呼び出しています**

```
Calling MTA (smtp.dynect.net:25)...
MTA OK
```

ツールが SMTP 設定の取得に成功した場合、その設定を MTA を呼び出すために使用します。呼び出しが成功した場合、**MTA OK** というメッセージが表示されます。

呼び出しが成功しなかった場合、ツールはエラー メッセージと、問題を解決するために役立つヒントを表示します。[接続が失敗しました] リンクをクリックした場合、ツールは発生した問題についての詳細を表示します。

3.6 ECM 2.1 にデザイン インポーターをインストールする

ECM 2.1 をインストールした後にデザイン インポーター モジュールをインストールし、さらに ECM でデザイン インポーターを使用する計画がある場合は、『[ECM 2.1 Downloads page](#)』にあるデザイン インポーターのアップデート パッケージをインストールする必要があります。

3.7 複数言語メッセージの発送を有効にする

バージョン 2.1 から、ECM は受信者に適切な言語のメッセージを配信することができます。

この機能はデフォルトで無効化されています。有効にするには、`Sitecore.EmailCampaign.config` ファイルで次の設定を編集してください。

```
<setting name="LanguageFieldName" value="" />
```

この設定には、ユーザー プロファイルのプロパティ名を指定します。これによって、ECM は受信者の希望する言語を使用します。たとえば、以下の設定では既定の受信者プロフィールのプロパティを指定しています。

```
<setting name="LanguageFieldName" value="ContentLanguage" />
```

Chapter 4

パフォーマンスのチューニング

電子メールの送信と配信にかかる速度は、様々な要素と依存関係の複雑な組合せに依存しています。ECM のパフォーマンスを最適化する方法についての追加情報は、SDN の『[ECM Tuning Guide](#)』を参照してください。

この章には次のセクションがあります。

- **Performance Measurement Tool** を使用
- エミュレーション モードを使用したパフォーマンスのテスト

4.1 Performance Measurement Tool を使用する

ECM Performance Measurement Tool は、現行の構成設定に基づく電子メール キャンペーンのパフォーマンスの概要を顧客やコンサルタントに提供するように設計されています。

CPU Cores: 4		Number of Threads: 50	
Automation State Bulk Fetch: 1000		Max Generating Threads: 10	
CPU Usage: 91% on this server		Max SMTP Connections: 100	
		Send Emulation Time: [0...2] ms	
Message: Newsletter Message			
Start time: 2012-02-02 17:57:20			
Duration: 00:00:32.9347490			
Fetch Automation States		Generate Single Email (avg)	
Fetch Recipient		Send Email	
Total: 0 ms		Total: 225 ms	Failed send attempts: 0
Lock: 0 ms	Wait: N/A	Wait: 0 ms	Wait: 0 ms
Process: 0 ms	Process: 3 ms	Process: 225 ms	Process: 21 ms
		Load User: 3 ms	
		GetPage: 130 ms	
		Collect files: 3 ms	
		Generate MIME: 34 ms	
Fetching Speed: 145112 state/s		Generating: 43 email content/s	
Fetching: 43 recipient/s		Sending: 43 email/s	
		Required Bandwidth: 1004 KB/s	
Sending: 45 emails/s on this server			
Total mails sent: 1441 on this server			

このツールへのアクセスおよび使用方法についての追加情報は、SDN の『[ECM Tuning Guide](#)』を参照してください。

メモ

このツールを使用するには、ユーザーは *ECM Users* または *ECM Advanced Users* ロールに属している必要があります。

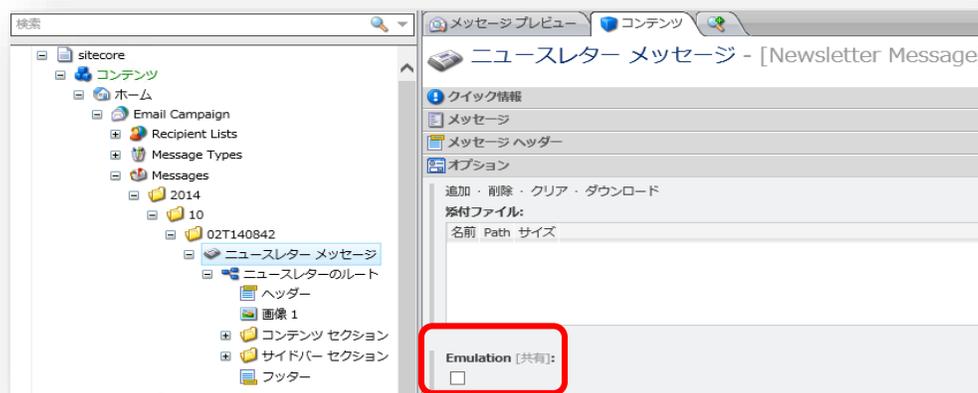
4.2 エミュレーション モードを使用したパフォーマンスのテスト

ECM モジュールは、MTA をエミュレートすることによって、キャンペーンをテストする手段を提供します。MTA エミュレーションによって、電子メールを Sitecore CMS から MTA に送信するために必要なラウンド トリップ タイムをシミュレートすることができます。

エミュレーションは 2 つのモードに設定することができます。

1. 単一メッセージのエミュレーション

このモードは、対象のメッセージの[コンテンツ] タブの[オプション] セクションで選択することができます。



また、ECM ユーザー インターフェイスで [発送のオプション] ダイアログを使用することによって、単一メッセージにエミュレーション モードを選択することができます。



2. サーバー レベルの発送のエミュレーション

このモードは、`Sitecore.EmailCampaign.config` ファイルの `MtaEmulation.Active` 設定を使用して設定することができます。

エミュレーション モードの設定および使用についての追加情報は、SDN の『[ECM Tuning Guide](#)』を参照してください。

Chapter 5

ECM 設定の参照

この章では、モジュールの構成設定について説明します。モジュールは、設定ファイルを使用して設定し、様々なレベルで調整することができます。たとえば、グローバル レベル、メッセージ ルート レベル、メッセージ タイプ レベル、または特定のメッセージ レベルなどがあります。また、この章にはモジュールの拡張や変更に関与する情報が含まれます。

この章には次のセクションがあります。

- Sitecore.EmailCampaign.config
- グローバル設定
- マネージャー ルートの設定
- メッセージ タイプの設定
- メッセージの設定
- ECM アクション
- マルチサイト環境での ECM の使用
- パーソナライゼーションとオンライン メッセージ バージョン
- バウンスメール(返送されたメール)と最大未配達メール設定
- メッセージのエンゲージメント プラン
- ECM セキュリティ ロール

- メッセージのレイアウトとレンダリングのデザイン
- Sitecore CMS Web.config 設定に伴う問題

5.1 Sitecore.EmailCampaign.config

このセクションでは、Sitecore.EmailCampaign.config のメインの設定である、<sitecore>/<settings> セクションについて説明します。

設定名	値の例	説明
UseLocalMTA	false	Sitecore.EmailCampaign.config ファイルのカスタムの SMTP 設定を使用する場合は true に設定します。まず、"UseLocalMTA" 設定を使用するための権利を購入してください。
Debug	false	Sitecore ログ ファイルへの詳細なログを有効にするかどうかを指定します。ECM での問題を解決するために使用してください。
NumberThreads	4	メッセージを送信するために使用するスレッドの数です。この設定を使用したパフォーマンスに関する情報は、SDN の『 ECM Tuning Guide 』を参照してください。
MaxGenerationThreads	8	同時にメッセージを生成できる送信スレッドの数を指定します。デフォルトでは、 <i>MaxGenerationThreads</i> 設定は、 <i>Environment.ProcessorCount</i> の 2 倍の値になります。この設定についての追加情報は、『 ECM Tuning Guide 』Chapter 4「 Tuning Procedures 」を参照してください。
RecipientsRequestSize	500	これは、1 回のリクエストでアナリティクス データベースからキューに格納できる受信者の数です。この設定についての追加情報は、『 ECM Tuning Guide 』Chapter 4「 Tuning Procedures 」を参照してください。
Sleep	50	次のメッセージを送信する前に待機する時間(ミリ秒)です。
MaxConnectionUnavailable	9000	発送を停止される前に、モジュールが MTA への接続の復元を試みる期間 (秒) です。

設定名	値の例	説明
MaxSendingAttempts	5	メッセージの再送を試みる回数です (必要な場合)。これらの動作は、MTA に接続しているが、送信サーバー側で送信プロセスが失敗した場合に発生します。
CheckReceiverRights	false	この設定の値が false の場合、モジュールはメッセージの生成中に現行の購読者がレンダリングされているアイテムへのアクセス権を持っているかを確認しません。最適なパフォーマンスを実現するには、この設定が false であることを確認してください。
RolesInRoles	false	この設定は、モジュールがロールの中にネストされたロールに属するユーザーを考慮するかどうかを定義します。これは Opt-in/Opt-out Role フィールドに関連します。
ConfirmationPeriod	10	購読者フォームコントロールを使用してメーリングリストに登録したが、購読の確認をしなかったユーザーを Sitecore が削除するまでの期間 (日数) です。
EmailValidation	正規表現	電子メールの検証で使用する正規表現です。
MaxMessageFolderSize	50	ECM が単一フォルダーで作成するメッセージ (またはメッセージに関連するキャンペーン、テスト) の最大数です。この数以上のメッセージがある場合は、ECM は別のフォルダーを作成します。
PhoneFieldName	phone	Sitecore ユーザー プロファイルのフィールド名です。このフィールドの値は連絡先の電話番号として使用されます。Sitecore CMS のデフォルトのユーザー プロファイルには対応するフィールドが存在しないため、このプロパティは Sitecore.EmailCampaign.config ファイルに追加されました。既にカスタムのユーザー プロファイルに電話番号フィールドがある場合はこの設定の値を変更してください。
ShellSiteName	shell	Web.config ファイルで指定されている Shell Web サイトの名前。
IIS.User	serviceuser	IIS で匿名アクセスが無効化されている場合に、ログインするために使用するユーザー名です。

設定名	値の例	説明
IIS.Password	12345	IIS で匿名アクセスが無効化されている場合に、ログインするために使用するパスワードです。
MtaEmulation.Active	false	MTA エミュレーション モードを有効にするために true に設定します。この設定についての追加情報は、『 ECM Tuning Guide 』セクション 4.4 「MTA Emulation」を参照してください。
MtaEmulation.MinSendTime	200	これは、一通の電子メールの送信時間をエミュレートする、最小時間 (ミリ秒) です。これを MtaEmulation.MaxSendTime と連携して使用し、Sitecore CMS から MTA へのラウンドトリップタイムの挙動を模倣します。
MtaEmulation.MaxSendTime	400	これは、一通の電子メールの送信時間をエミュレートする、最大時間 (ミリ秒) です。
MtaEmulation.FailProbability	0.01	この設定によって、エミュレーションに接続の失敗の確率を導入できます。この設定についての追加情報は、『 ECM Tuning Guide 』セクション 4.4 「MTA Emulation」を参照してください。
Proxy.Enabled	false	この設定が true に設定されている場合、ECM はプロキシ サーバーを介して SMTP サーバーを要求します。
Proxy.Type	HTTP	プロキシ サーバーのタイプを設定します。有効な値: "HTTP"、"SOCKS4"、"SOCKS5"
Proxy.HostName	site.com	プロキシ サーバーの IP アドレスまたは DNS 名を設定します。
Proxy.Port	80	プロキシ サーバー ポートを設定します。
Proxy.AuthMethod	LOGIN	プロキシ サーバーの HTTP 認証方法を設定します。有効な値: "LOGIN"、"NTLM"
Proxy.Username	ユーザー名	プロキシ サーバーにログインするためのユーザー名を設定します。

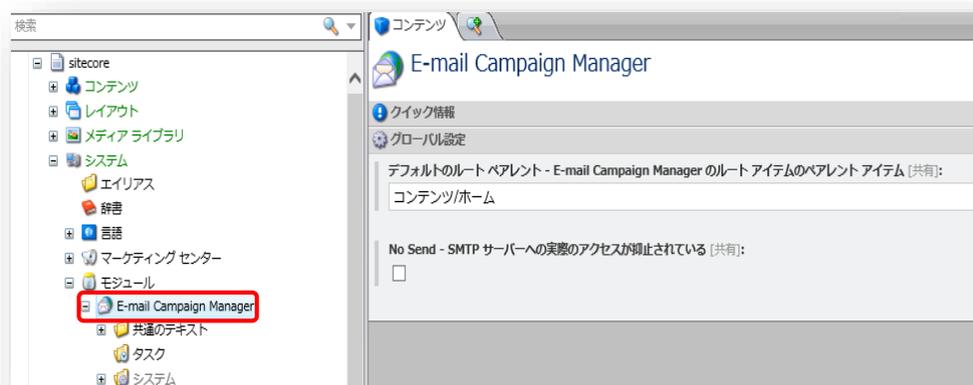
設定名	値の例	説明
Proxy.Password	Pass123	プロキシ サーバーにログインするためのパスワードを設定します。値は、SOCKS4 プロキシ タイプで無視されます。
QueryStringKey.Campaign	ec_camp	電子メール キャンペーンを識別するために使用するクエリ文字列パラメーターを設定します。
QueryStringKey.AutomationState	ec_as	これらの設定は、メッセージを生成時にクエリ文字列を構築するときにモジュールによって内部的に使用されます。
QueryStringKey.EcmId	ec_id	
QueryStringKey.Recipient	ec_recipient	
QueryStringKey.Subscription	ec_subscr	
SMTP.Server	localhost	SMTP サーバー アドレスまたは IP です。
SMTP.Port	25	SMTP サーバーのポート番号です。
SMTP.LoginDomain		SMTP サーバーにログインするためのドメインです。
SMTP.UserName	admin	SMTP サーバーにログインするためのユーザー名です。
SMTP.Password	12345	SMTP サーバーにアクセスするためのパスワードです。
SMTP.AuthMethod	LOGIN	SMTP の認証方法です。("NONE"、"LOGIN"、"PLAIN"、"CRAM-MD5"、"NTLM")
SMTP.StartTLS	false	Start TLS オプションです。True に設定した場合、メールの送信者は STARTTLS コマンドを実行し、電子メールの認証と送信を行う前に安全な SSL/TLS 接続に切り替えます。
SMTP.MaxConnections	100	同時に開くことが可能な SMTP 接続の最大数です。この設定についての追加情報は、『 ECM Tuning Guide 』Chapter 4「 <i>Tuning Procedures</i> 」を参照してください。
SMTP.ConnectionExpiration	180	モジュールが (最後に使用してから) SMTP 接続をオープン状態にしておく期間 (秒) です。
StandardMessages.SubscriptionConfirmation	<アイテムへの相対パス>	訪問者がメーリング リストを購読する場合、このメッセージを Sitecore から受信します。このメッセージには、購読の確認のリンクが含まれます。

設定名	値の例	説明
StandardMessages. SubscriptionNotification	<アイテムへの 相対パス >	ユーザーが購読の確認メッセージで確認のリンクをクリックした場合、ECM は訪問者にこのメッセージを送信します。
StandardMessages. UnsubscribeNotification	<アイテムへの 相対パス >	購読者がメーリングリストの購読を停止する場合、ECM からのこのメッセージを受信します。
StandardMessages.UnsubscribeFromAllNotification	<アイテムへの 相対パス >	購読者がすべてのメーリングリストの購読を停止する場合、ECM からこのメッセージを受信します。
StandardMessages. DispatchCompleted	<アイテムへの 相対パス >	発送のプロセスが終了すると、Sitecore はこのメッセージを [通知の発送] セクションで指定された電子メールアドレスに送信します。
StandardMessages.TrickleNotification	<アイテムへの 相対パス >	この設定は、トリガーされたメッセージの有効化ステータスメッセージへのパスを指定します。
UrlValidation	正規表現	URL の確認に使用される正規表現です。この検証はユーザーが URL を入力した場所に適用されます。

5.2 グローバル設定

このセクションでは、ソリューションのすべてのマネージャー ルートにおいて共通のグローバルなモジュール設定について説明します。

グローバルなモジュール設定を含むアイテムは、`/sitecore/system/Modules/Email Campaign Manager` に配置されています。



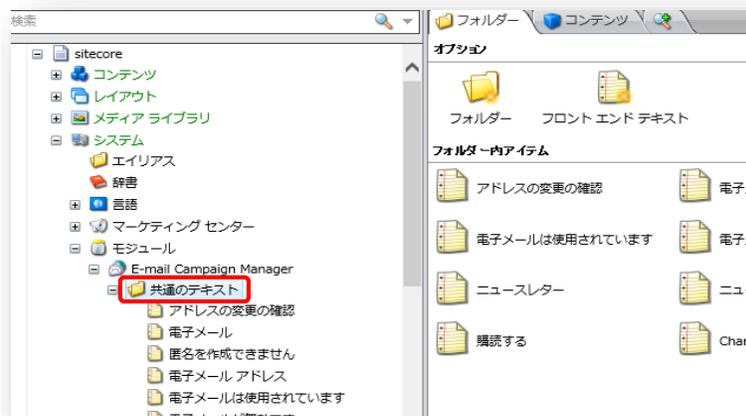
また、このアイテムは、Sitecore デスクトップから、**Sitecore**、**すべてのプログラム**、**電子メール キャンペーン**、**設定**を選択してもアクセスすることができます。

このアイテムは次の設定を含みます。

設定名	サンプル値	説明
デフォルトのルート ペアレント	<アイテムへのパス>	このフィールドは、マネージャー ルートを配置する親のアイテムを定義します。ここで指定したアイテム配下にマネージャー ルートを配置します。
No Send	false	この設定を選択した場合、SMTP サーバーへの実際のアクセスは抑制されます。メッセージの送信を試みると、“メッセージ送信はシステムにより無効になっています” というメッセージが表示されます。

5.2.1 共通テキスト

このアイテムは、モジュールで使用される様々なラベルとメッセージを含みます。



5.2.2 タスク

このアイテムには、スケジュールされた発送が含まれます。特定時間にメッセージを送信する場合、Sitecoreはこのアイテムの配下に適切なタスクを作成します。

5.2.3 システム

このアイテムは、モジュールで使用されるシステム アイテムを含みます。

App Center

このアイテムは、Sitecore アプリケーション センターの設定を ECM アプリケーションに保存します。

ルート リスト

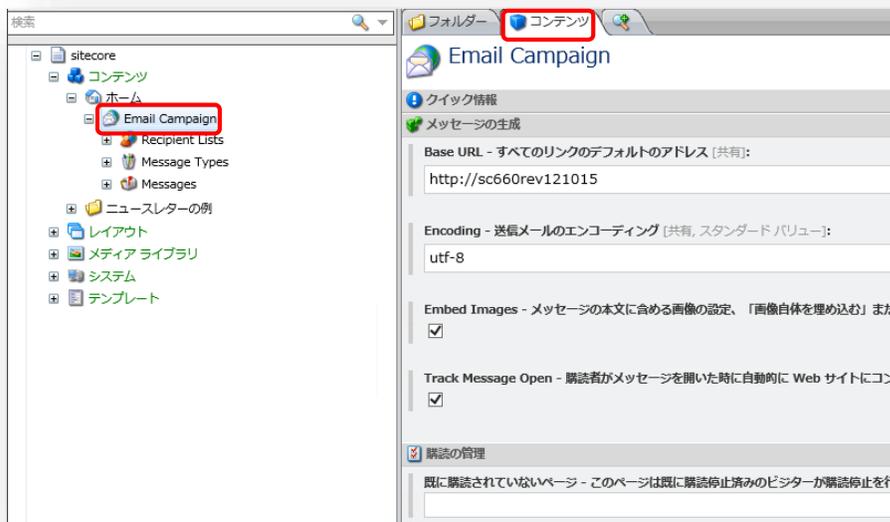
このアイテムは、マネージャー ルートのリストを [Manager Roots] フィールドに設定しています。主にモジュールはこのリストを使用し、購読フォームで有効な購読リストを表示します。このアイテムは自動的に更新されます。

セキュリティ キー

このアイテムは、メッセージの生成中に使用されるプライベート システム キーを含みます。モジュールはインストール中にこのキーを自動的に生成します。

5.3 マネージャー ルートの設定

このセクションでは、マネージャー ルートの設定について説明します。これらの設定を確認するには、マネージャー ルート アイテムを選択し、右側のコンテンツ タブを選択します。



マネージャー ルート アイテムは次のセクションを含みます。

- メッセージの生成
- 購読の管理
- 実装の詳細
- 配信状態通知
- 既定のメッセージ ヘッダー

5.3.1 メッセージの生成

このセクションは、次の設定を含みます。

設定名	値の例	説明
Base URL	http://localhost/	メッセージのリンクと画像が Web サイト上でホストされている場合に、それらに使用される Web サイトのアドレスです。

設定名	値の例	説明
Encoding	utf-8	メッセージの出力に使用されるエンコードです。
Embed Images	true	メッセージに画像を埋め込むかどうか、または画像へのリンクを挿入するかどうかを定義します。
Track Message Open	true	この設定を選択した場合、モジュールはメッセージに単一のピクセル画像を埋め込み、購読者がメッセージを開いたかどうかを追跡します。

5.3.2 購読の管理

このセクションでは、サイトの訪問者がメーリングリストを購読した場合や、購読内容を変更した場合にリダイレクトされるページを指定します。

このセクションは次の設定を含みます。

設定名	値の例	説明
既に購読されていないページ	<アイテムへのパス >	このページは、既に購読停止済みの訪問者が購読停止を行う際に表示されます。
電子メールが送信された時の確認ページ	<アイテムへのパス >	訪問者が購読フォームを送信した場合、Sitecore は確認の電子メールを送信し、訪問者をここで指定したページにリダイレクトします。デフォルトでは、このフィールドは空です。これは、訪問者がフォームを送信した後も同じページを表示することを意味します。
最終確認ページ	<アイテムへのパス >	このページは、訪問者がメーリングリストの購読を変更した後に (たとえば、特定のメーリング リストへの購読をキャンセルするなど)、リダイレクトされるページです。デフォルトでは、このフィールドは空です。これは訪問者が同じページを表示することを意味します。

5.3.3 実装の詳細

このセクションでは、マネージャー ルートや、ルート配下のすべての対象ユーザーに共通の Opt-out ロール、そしてデフォルトの購読者プロファイルのセキュリティドメインを指定します。

このセクションは次の設定を含みます。

設定名	値の例	説明
Common Domain	Emailcampaign	このルート配下のすべての受信者リストで共通のドメインです。
Common Opt-out Role	Emailcampaign¥Common Opt Out	これは、このルート配下のすべての受信者リストで共通の Opt-out ロールです。このロールのメンバーのユーザーは、このルート配下の受信者リストへのメッセージは受信しません。
デフォルトの購読者プロフィール	Profiles/購読者	このマネージャー ルートのすべての購読者に使用されるユーザー プロファイルです。
配信失敗の最大数	10	購読者ごとの一時的な配信の失敗最大数です。たとえば、受信者側のサーバーの応答がタイムアウトする場合は一時的な失敗となります。この設定についての追加情報は、セクション 5.9「バウンスメール(返送されたメール)と最大未配達メール設定」を参照してください。

5.3.4 配信状態通知

モジュールがカスタムの MTA を使用してメッセージを送信する場合、このセクションを使用して DSN メッセージの収集方法を設定します。モジュールが Sitecore MTA を使用する場合は SAC を使用して DSN メッセージを収集するため、このセクションの内容は無視されます。

このセクションは次の設定を含みます。

設定名	値の例	説明
通知の収集	未選択	モジュールが電子メール ボックスから、送信メッセージの配信状態通知を収集するかどうかを定義します。このチェックボックスを選択しない場合、残りのセクションは無視されます。 このチェックボックスを選択し、このセクションの他のフィールドが空の場合は、これらのフィールドはマネージャー ルートから継承されます。 このチェックボックスが選択されていない場合、モジュールはすべてのメッセージの配信が成功したかのように動作します。
Return Address	dsn@site.net	DSN メッセージを収集するための電子メール アドレスです。MTA サービスは DSN メッセージをこのアドレス宛に送信します。モジュールは、分析を行うために、このアドレスから POP3 プロトコルを使用して DSN メッセージを取得します。
POP3 Server	pop.server.com	POP3 サーバーのアドレス/名前。
POP3 SSL	未選択	POP3 サーバーがメッセージを転送するために SSL を使用するかどうかを決定します。
POP3 Port	110	POP3 サーバーからメッセージを転送するためのポート。
POP3 User Name	serveruser	POP3 サーバーのユーザー名。
POP3 Password	12345	POP3 サーバーのユーザー パスワード。

5.3.5 既定のメッセージ ヘッダー

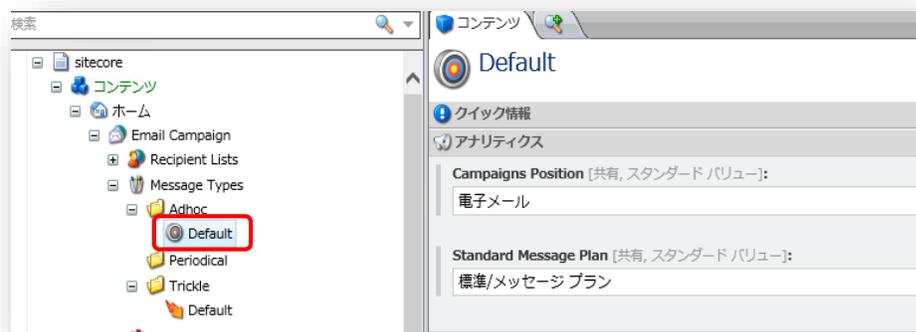
このセクションでは、すべてのメッセージで使用される **From Name**、**From Address**、**Reply To** の既定値を指定することができます。

5.4 メッセージ タイプの設定

デフォルトのパラメーターを設定し、メッセージ タイプ レベルでデフォルトのメッセージを設定することができます。

5.4.1 メッセージ

メッセージ タイプ設定を含むアイテムは *sitecore* に配置されています。



このアイテムは次の設定を含みます。

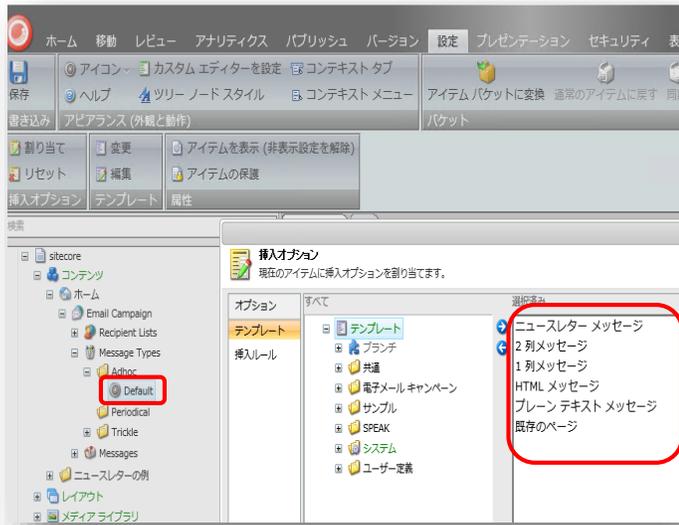
設定名	値の例	説明
Campaign Position	電子メール	このフィールドは、このメッセージタイプに関連するキャンペーンを保存するためのデフォルトのキャンペーンカテゴリを定義します。マーケターはこの値を ECM UI 上で変更することができます。
Standard Message Plan	標準/メッセージ プラン	このフィールドは、このメッセージ タイプのデフォルトのエンゲージメントプランを定義します。マーケターは、ECM UI で別のエンゲージメントプランを選択することはできません。編集のみ可能です。

メッセージ タイプの挿入オプションの設定

マーケターがメッセージ タイプの配下で選択できるメッセージ テンプレートの範囲を変更するには、次の手順に従います。

1. `sitecore/system/Modules/Email Campaign Manager/Message Types/Adhoc/Default` アイテムを選択します。

2. リボンの [設定] タブで、[割り当て] をクリックします。

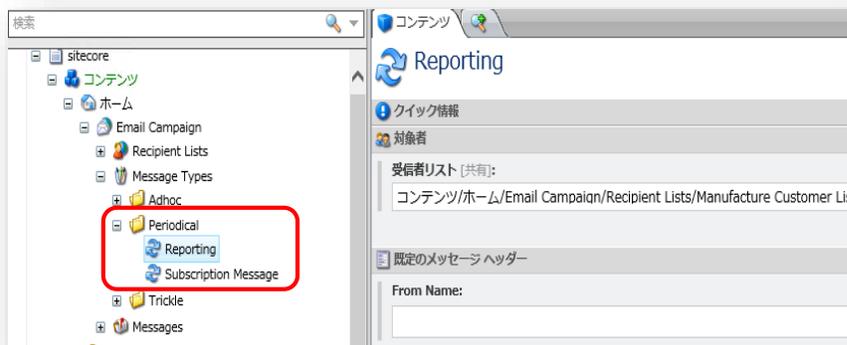


3. [挿入オプション] ダイアログ ボックスで、メッセージ テンプレートの範囲を変更します。

5.4.2 購読メッセージ

購読のメッセージ タイプの設定を含むアイテムは、/sitecore/content/Home/Email Campaign/Message Types/Periodical に配置されています。

購読メッセージには複数のテンプレートを設定でき、それぞれに特定の受信者リストとメッセージ ヘッダーを設定できます。



このアイテムは次の設定を含みます。

設定名	値の例	説明
受信者リスト	<アイテムへのパス>	メッセージのデフォルトの受信者リスト
From Name	Paolo	デフォルトの送信者の名前
From Address	Paologi@paologiacom.com	デフォルトの送信者のアドレス
Reply To	support@paologiacom.com	受信者の返信先の電子メール アドレス
Campaign Position	電子メール	このフィールドは、このメッセージ タイプに関連するキャンペーンを保存する、デフォルトのキャンペーン カテゴリを定義します。マーケターはこの値を ECM UI で変更することができます。
Standard Message Plan	標準/メッセージプラン	このフィールドは、このメッセージ タイプのデフォルトのエンゲージ プランを定義します。マーケターは、ECM UI でこの値を変更することはできません。

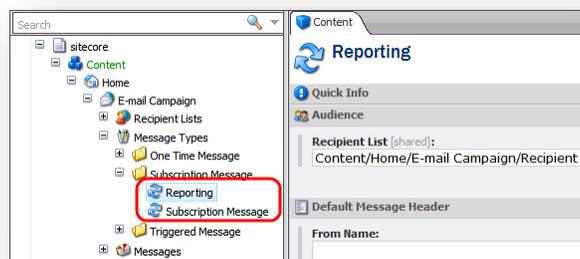
購読メッセージ タイプの挿入オプションの設定

マーケターが購読メッセージ グループで使用できるメッセージ テンプレートを変更することができます。

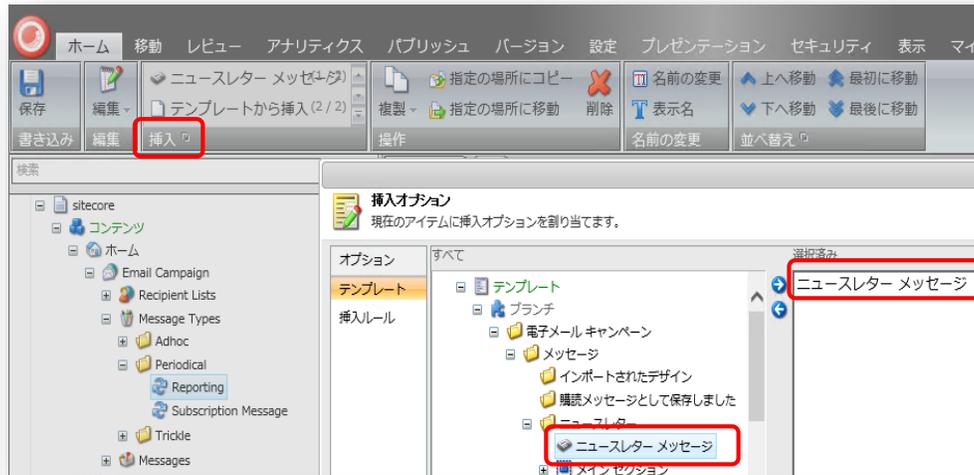
たとえば、別々の設定からなる 2 つの購読メッセージ グループを作成したいとします。さらに、各グループに特定のメッセージ テンプレートを含めたいとします。

このタスクを実装するには、次のアクションを実行します。

1. `/sitecore/Content/Home/E-mail Campaign/Message Types/Periodical` アイテムを配下にアイテム作成します。



2. 両方のアイテムの挿入オプションを設定します。



これで購読メッセージの 2 つのグループが設定されました。マーケターはそれらのグループを ECM UI で使用することができます。グループはフォルダーとして表示されます。

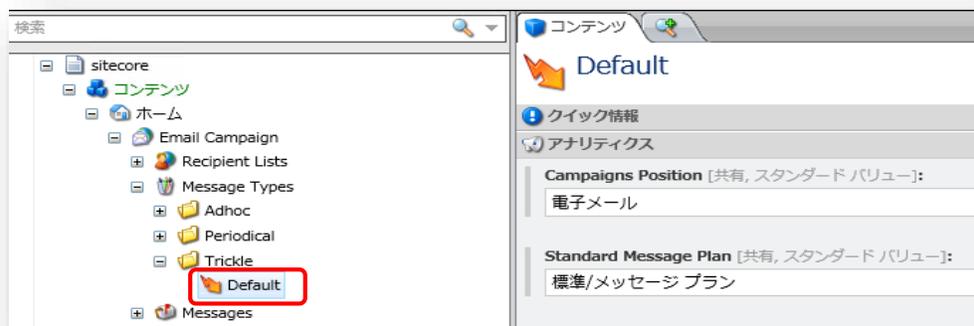


マーケターがグループを選択した場合、挿入オプションがメッセージ テンプレートとして表示されます。



5.4.3 トリガーされたメッセージ

トリガーされたメッセージ タイプの設定を含むアイテムは、`/sitecore/content/Home/Email Campaign/Message Types/Trickle/Default` に配置されます。



このアイテムは、次の設定を含みます。

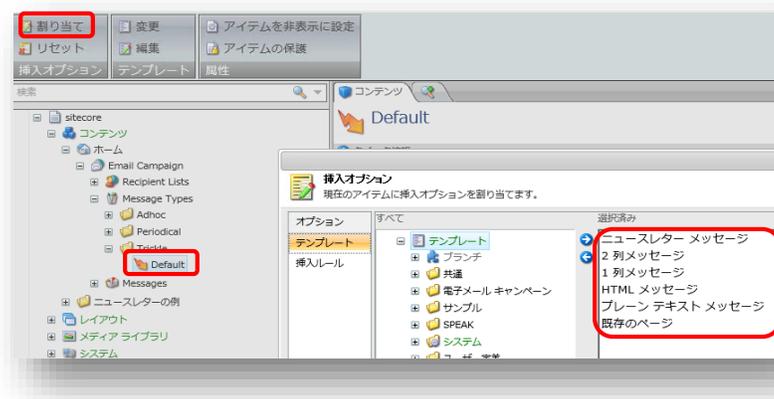
設定名	値の例	説明
Campaign Position	電子メール	このフィールドは、このメッセージ タイプに関連するキャンペーンを保存するデフォルトのキャンペーン カテゴリを定義します。マーケターはこの値を ECM UI で変更することができます。
Standard Message Plan	標準/電子メール	このフィールドは、メッセージ タイプのデフォルトのエンゲージメント プランを定義します。マーケターは ECM UI で別のエンゲージメント プランを選択することはできません。編集のみ可能です。

トリガーされたメッセージの挿入オプションの設定

マーケターがトリガーされたメッセージ タイプの配下で選択できるメッセージ テンプレートの範囲を変更するには、次の手順に従います。

1. `/sitecore/content/Home/Email Campaign/Message Types/Trickle/Default` アイテムを選択します。

2. リボンの [設定] タブで、[割り当て] をクリックします。

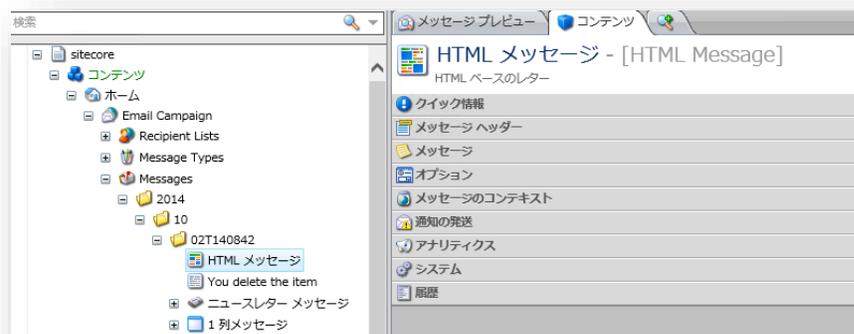


3. [挿入オプション] ダイアログ ボックスで、メッセージ テンプレートの範囲を変更します。

5.5 メッセージの設定

特定のメッセージを設定することができます。

メッセージを設定するには、**コンテンツ エディター**で、Sitecore/Content/Home/E-mail Campaign/Messages フォルダの配下から、適切なサブフォルダのメッセージを選択します。



5.6 ECM アクション

このセクションでは、ECM がインストールするエンゲージメント オートメーション アクションとルール エンジン アクションについて説明します。

5.6.1 エンゲージメント オートメーション アクション

ECM モジュールは、デフォルトのインストールで、**電子メール キャンペーン**のメッセージを送信と**電子メール対象ユーザーの編集**の2つのエンゲージメント オートメーション アクションを提供します。マーケティング オートメーション モニターは、プランで指定した条件を満たす訪問者に対してこれらのアクションを実行します。両方のアクションのアイテムは次のフォルダーに保存されます。

```
sitecore/system/settings/analytics/engagement_automation/predefined_items/actions.
```

両方のアクションを直接エンゲージメント プランで設定することができます。オートメーション アクションの設定についての追加情報は、『[ECM Marketers Guide](#)』の「[How to Use ECM Actions](#)」セクションを参照してください。

5.6.2 電子メールを送信ルール エンジン アクション

ECM モジュールは、次のパスに電子メールを送信ルール エンジン アクションをインストールします。

```
/system/Settings/Rules/Common/Actions/Send Email もしくは  
/system/Settings/Rules/Definitions/Elements/E-mail Campaign Manager/Send Email
```

特定のイベントが発生した場合に、このアクションを使用して現行のコンテキスト ユーザーにトリガーされたメッセージを送信することができます。

アクションで使用するトリガーされたメッセージが有効化されていることを確認してください。起動されていない場合、ECM はそのメッセージを送信しません。

メモ

現行のコンテキスト ユーザーのユーザー プロファイルの電子メールフィールドが空の場合、アクションは実行されません。

5.7 マルチサイト環境での ECM の使用

マルチサイト環境で E-mail Campaign Manager を使用する企業は、次の場合にサイト間を区別するためのビジネスロジックを定義する必要があります。

- Sitecore ユーザーが E-mail Campaign Manager にアクセスする場合。
- Sitecore ユーザーが E-mail Campaign Manager を使用する場合。

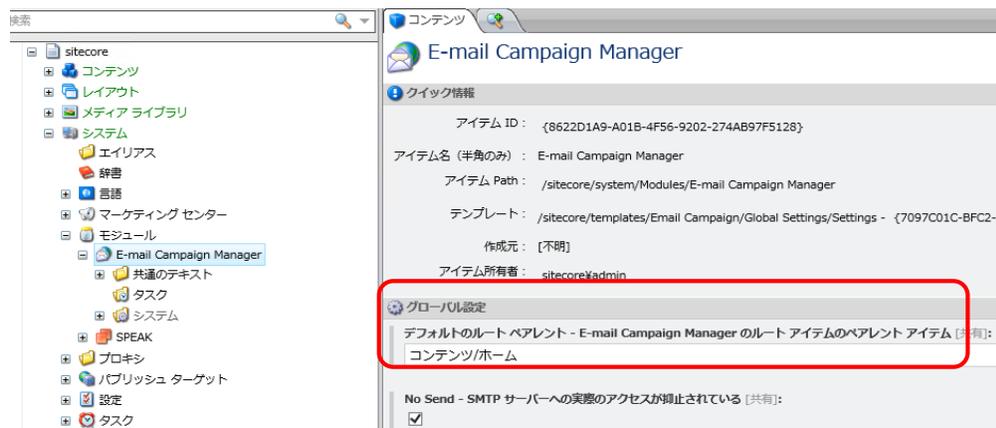
マネージャー ルートには、モジュールを取り扱う場合にエンドユーザー エクスペリエンスを制御するすべての設定が含まれます。

5.7.1 サイト間でマネージャー ルートを区別する方法

この例では、企業が以下のビジネスロジックを持つことを仮定します。

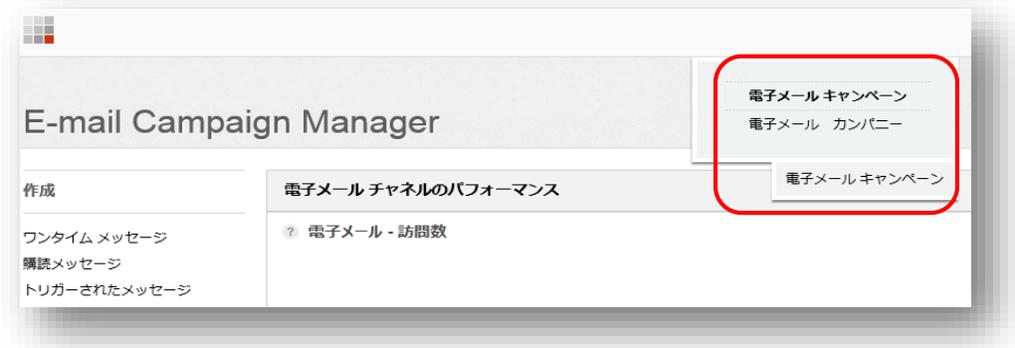
- Sitecore ソリューションで定義された複数のサイトがあり、各サイトには独自のマネージャー ルートがあります。
- Sitecore デスクトップにログインするユーザーは、ひとつのマネージャー ルートのみへのアクセスを持ちます。

デフォルトでは、モジュールは [デフォルトのルート ベアレント] 設定で定義されたアイテムの下でのマネージャー ルートを検索します。



The screenshot shows the Sitecore desktop interface. On the left is a navigation tree with 'E-mail Campaign Manager' selected. The main pane displays the 'E-mail Campaign Manager' configuration. Under the 'Quick Information' section, fields for Item ID, Name, Path, Template, and Owner are visible. Below this, the 'Global Settings' section is highlighted with a red box, showing the 'Default parent item - E-mail Campaign Manager' set to 'Content/Home'. A 'No Send - SMTP server access disabled' checkbox is also visible at the bottom.

マルチサイト ソリューションでは、異なるサイトに関連するマネージャー ルートは、コンテンツ ツリーの別の場所に配置される場合があります。ECM は一人のユーザーのために複数のマネージャー ルートを表示し、そのユーザーはルート スイッチャーを使用してルート間を切り替えることができます。



標準の Sitecore セキュリティ アプリケーションを使用して、特定のマネージャー ルートへのアクセス許可を与えることができます。

5.8 パーソナライゼーションとオンライン メッセージ バージョン

電子メール キャンペーンにおいて、ニュースレターのオンライン バージョンを作成し、ニュースレターの内容をブラウザで閲覧することや、友人にそのリンクを送信することを可能にしたいことがあります。

たとえば、次のサンプルのニュースレターを見てみましょう。このニュースレターには、購読者にオンライン バージョンを表示させるトークンとリンクが含まれています。



購読者がメッセージを受信し、リンクをクリックした場合、ニュースレターのオンライン コピーにリダイレクトされます。

オンライン コピーは:

- パーソナライズされます。
- “オンライン版を表示したい場合は...” ヘッダや、“購読を停止する” フッターは含まれません。
- メッセージが作成されたときに自動的に作成されます。

オンライン コピーは次のように表示されます。

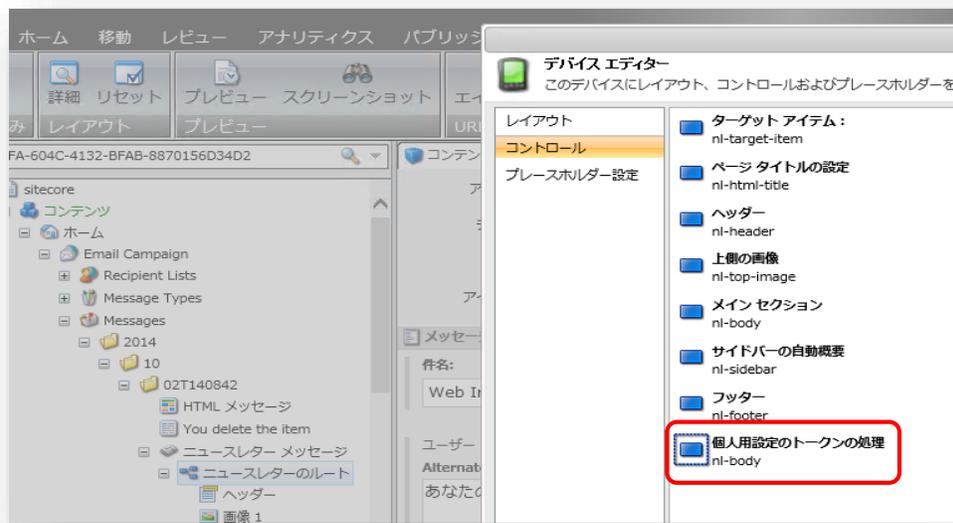


ECM は自動的にオンライン コピーを認識するため、適切にコントロールをレンダリングしません。

5.8.1 個人用設定のトークンの処理サブレイアウト

個人用設定のトークンの処理サブレイアウトは、トークンを購読者のプロフィールの適切な値と置換えます。

メッセージの定義アイテムのレイアウト詳細に挿入された場合、このサブレイアウトは OnLoad メソッドをオーバーライドし、トークンを置き換えます。たとえば、サブレイアウトを挿入した場合、[デバイス エディター] ダイアログ ボックスは次のように表示されます。



サブレイアウトは `ec_as` パラメーターを使ってトークンを置換するために購読者のプロフィールを取得します。

Sitecore.EmailCampaign.config ファイルで、QueryStringKey.AutomationState パラメーターとして使用する文字列 `ec_as` を変更することができます。

個人用設定のトークンの処理 サブレイアウトは、デフォルトで次のメッセージ テンプレートに添付されます。

- ニュースレター メッセージ
- 2 列メッセージ
- 1 列メッセージ

5.9 バウンスメール(返送されたメール)と最大未配達メール設定

このセクションでは、ECM によるバウンスメールの取り扱い方法について説明します。

バウンスメールとは、何かしらの原因でメッセージを配信できず、差出人に戻されるメッセージのことです。バウンスメールには、ソフト バウンスとハード バウンスの 2 つの種類があります。

ソフト バウンスは一時的な失敗であり、最終的に受信者がメッセージを受信する可能性があります。ソフト バウンスでは、受信者のメール サーバーまで電子メール アドレスは到達しますが、受取人のメール ボックスが満杯であるためメール サーバーが一時的に使用できない、または受取人がそのアドレスに電子メール アカウントを所有していないなどの事情でメッセージが差出人に戻されます。

ハード バウンスは恒久的な失敗です。ハード バウンスは、アドレスが無効なため電子メールが恒久的に差出人に戻されることを意味します。

購読者のプロファイルには **UndeliveredCount** プロパティが含まれ、購読者にソフト バウンスが記録された場合に 1 つずつ増加します。

マネージャー ルート アイテムは **[配信失敗の最大数]** 設定を含みます。これは購読者ごとのソフト バウンスの最大数、または **UndeliveredCount** プロパティの最大値を定義します。

UndeliveredCount 値が 配信失敗の最大数 値と等しい場合、モジュールはその購読者にメッセージを送信しません。ハード バウンスが購読者に記録された場合、**UndeliveredCount** プロパティは配信失敗の最大数と同じ値に設定されます。

購読者が ECM を使用して送信されたメッセージ内のリンクをクリックした場合、**UndeliveredCount** プロパティは null に設定されます。

メモ

Sitecore App Center によって提供される 電子メール配信サービスは、電子メールのソフトバウンスの回数が事前定義された制限に達した場合、電子メールをサブプレッションリスト(suppression list)に移動します。したがって、ECM が Sitecore MTA で使用される場合、配信失敗の最大数 設定はこの値に基づいて設定する必要があります。

これについての詳細情報は、『[Email Delivery for Sitecore ECM](#)』ドキュメントを参照してください。

5.10 メッセージのエンゲージメント プラン

ECM は、次の場所に保存されている**メッセージ プラン**というエンゲージメント プランをインストールします: /
/sitecore/system/Marketing Center/Engagement Plans/Email
Campaign/Standard/Message Plan

ユーザーが新しいメッセージを作成する場合、Sitecore は標準のエンゲージメント プラン(メッセージ プラン)のコピー をメッセージ タイプの [**Campaigns Position**] フィールドで定義された場所に作成します。

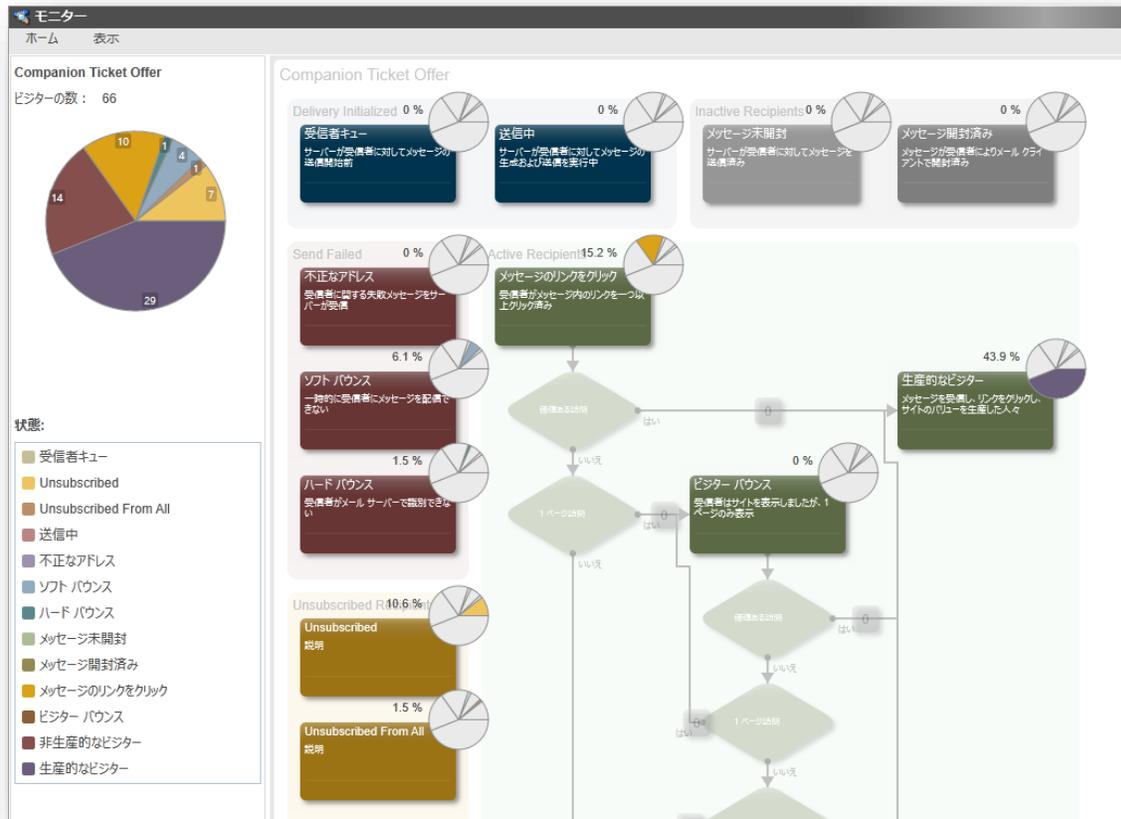


ECM はこのエンゲージメント プランを使用して、発送プロセス中の訪問者の状態を反映します。ビジネス ユーザーはメッセージ プランを拡張し、自動化される動作を定義することができます。

メッセージが発送される場合、最初のメッセージが送信のキューに入れられる前に、エンゲージメント プランをアナリティクス データベースにデプロイする必要があります。

Standard Message Plan フィールドを使用してデフォルトのエンゲージメントプランを指定することができます。

次の画面例は ECM メッセージ プランを使用したマーケティングオートメーションモニターを示します。



メッセージプランにおけるグループ、状態、条件についての追加情報は、『ECM Marketer's Guide』のセクション 7.3 「Marketing Automation Monitor」を参照してください。

5.11 ECM セキュリティ ロール

ECM は 2 つのセキュリティ ロールをインストールします。

- ECM Users
- ECM Advanced Users

両方のロールともに ECM アプリケーションへのアクセス権限を提供します。

ECM Users

このロールは、ユーザー アクセスを ECM アプリケーションのいくつかの機能に制限します。

許可されたアクセス	拒否されたアクセス
ECM アプリケーションのすべての機能は、 [拒否されたアクセス] 列に表示された機能を除いてアクセス可能です。	デフォルト設定の変更
	メッセージの削除
	エンゲージメント プランの編集
	エンゲージメントプランモニターを開く
	購読メッセージの受信者の変更
	[一般] タブで [詳細] タブの展開

ECM Advanced Users

このロールはユーザーに ECM アプリケーションのすべての機能へのアクセス権限を提供します。

承認アクセス	否認証アクセス
ECM アプリケーションのすべての機能はアクセス可能です。	-

メッセージの本文を編集するために ECM Users に必要な Sitecore ロール

ECM Users または ECM Advanced Users ロールを使用することで、ECM ユーザーは十分にメッセージを取り扱うことができます。ただし、ECM をインストール済みの CMS ソリューションが `web.config` ファイル (`rolesInRolesManager` パラメーター) のロールがロールにネストして所属する機能を無効化した場合は、ECM Users または ECM Advanced Users ロールに加え、さらに 2 つの Sitecore ロールを割り当てる必要があります。

- sitecore¥Sitecore Client users
- sitecore¥Sitecore Client Authoring

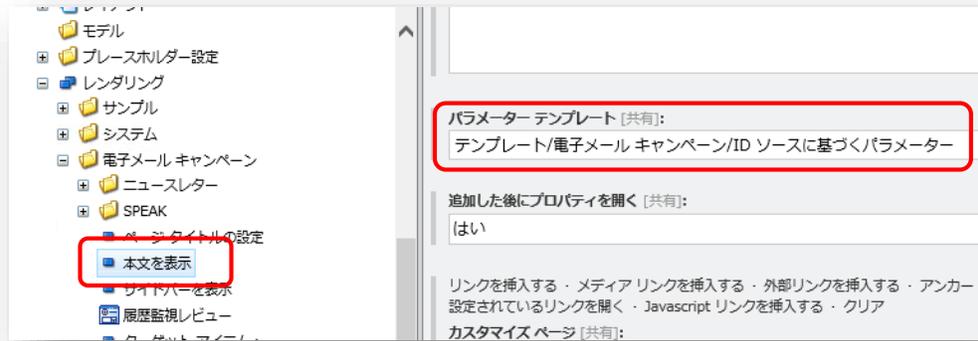
CMS ソリューションでロールにロールが所属する機能が無効化されている場合は、上記のロールが ECM Users と ECM Advanced Users ロールに追加されていることを確認します。

5.12 メッセージのレイアウトとレンダリングのデザイン

正しく処理されるために、メッセージのレイアウトで使用されるすべてのレンダリングは、レンダリングの [パラメーターテンプレート] フィールドに次の値を持ちます。

/sitecore/templates/Modules/Email Campaign/ID Source Based Parameters

たとえば:



5.13 Sitecore CMS Web.config 設定に伴う問題

ECM 2.0 がインストールされているインストレーション環境上の web.config ファイルに次の設定が存在する場合、ワンタイム メッセージ作成メッセージ コマンドは機能せず、“Page not found” エラー (383429) が表示されます。

```
<encodeNameReplacements>  
<replace mode="on" find=" " replaceWith="-" />  
</encodeNameReplacements>
```

このエラーは ECM 2.0 における制限によって引き起こされます。

回避策:

- Web.config ファイルで、次の設定を削除します。

```
<replace mode="on" find=" " replaceWith="-" />
```

Chapter 6

実装の詳細

この章では、どのように発送プロセスが動作し、またこのプロセスを確実にスムーズに行うために管理者が行うべき事項について説明します。

この章には次のセクションがあります。

- 発送の概要
- 発送プロセス

6.1 発送の概要

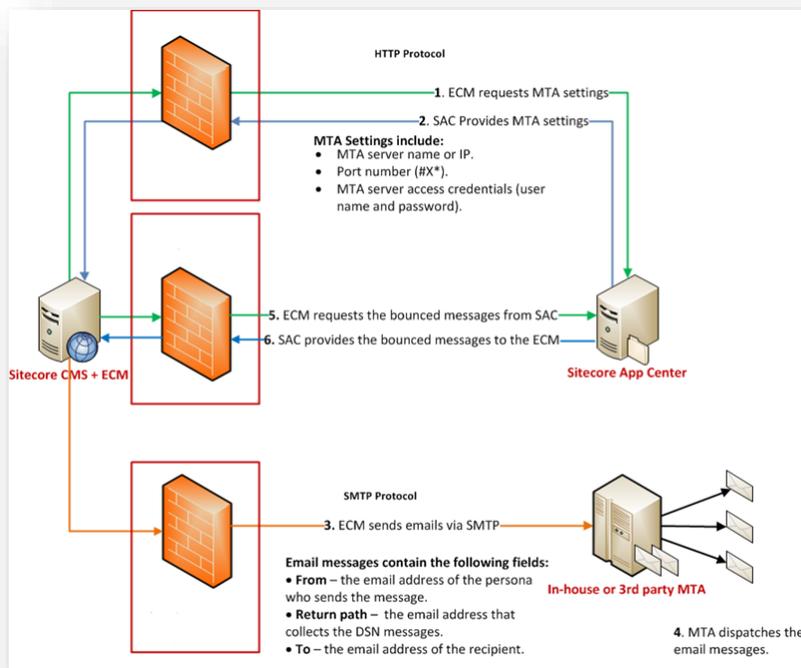
このセクションでは、発送プロセスの原則について説明します。たとえば、プロセスに関連するサービスおよびアプリケーションについて、またファイアウォールの設定方法について説明します。

発送プロセスは使用する MTA のタイプ (Sitecore App Center を使用する Sitecore の MTA またはカスタムの MTA) によって異なります。

6.1.1 Sitecore MTA の使用

このセクションは Sitecore MTA を使用する場合の発送プロセスの原則について説明します。

以下の図は、発送プロセスにおける手順の詳細と、必要な設定について示します。



メモ

Sitecore MTA はポート 25, 80 および 443 を開放する必要があります。

一般的な環境は次のコンポーネントを含みます。

- ファイアウォールが配置された Sitecore CMS にインストールされた ECM モジュール
- **Sitecore App Center (SAC)**

ECM がメッセージの発送を開始する場合、Sitecore App Center に接続し、メッセージを一括で送信するために電子メール配信サービスを購入していることを確認し、メッセージを送信するときに使用する SMTP サーバー設定を取得します。パフォーマンスを向上させるため ECM はこれらの設定をキャッシュし、以降のすべての発送において使用します。モジュールは、メッセージの送信に伴う問題が発生した場合にのみ、SAC に最新の設定を要求します。

- 社内またはサードパーティの MTA

以下のリストは、発送プロセス中に発生するイベントと、手順に関連する設定について説明しています。

手順 1. ECM モジュールは SAC に接続し、MTA の設定を要求します。

関連する設定: `ConnectionStrings.config` ファイルの接続文字列

この接続のために、ファイアウォールでポート #80 を許可するアウトバウンドルールを作成する必要があります。HTTP プロトコルが使用されます。

SAC は、メッセージの一括送信のために課金を行い、MTA サーバーの設定を送信します。

手順 2. SAC は MTA 設定を提供します。

MTA 設定は次を含みます。

- MTA サーバー名または IP
- ポート番号(#X)
ECM モジュールはこのポートを使用して MTA に接続します。
- MTA サーバーのアクセス資格情報 (ユーザー名とパスワード)

手順 3. ECM モジュールは MTA に電子メール メッセージを送信します。

ECM モジュールは、先ほどの手順で取得した設定を使用し、電子メール メッセージを MTA に送信します。

この接続のために、ファイアウォールでポート #X を許可するアウトバウンドルールを作成する必要があります。SMTP プロトコルが使用されます。

電子メール メッセージは次のデータを含みます。

- **From** – メッセージを送信する差出人の電子メール アドレス
- **To** – 受信者の電子メール アドレス
- **メッセージ本文**

手順 4. MTA は受信者に電子メール メッセージを送信します。

手順 5. ECM は SAC から返送されたメッセージについての情報を要求します。

ECM は、スケジュールされたタスクを使用して SAC から返送されたメッセージについての情報を要求します。スケジュールされたタスクについての追加情報は、セクション「Sitecore MTA の使用」を参照してください。

この接続のために、ファイアウォールでポート #80 を許可するアウトバウンドルールを作成する必要があります。HTTP プロトコルが使用されます。

手順 6. SAC は ECM に返送されたメッセージについての情報を提供します。

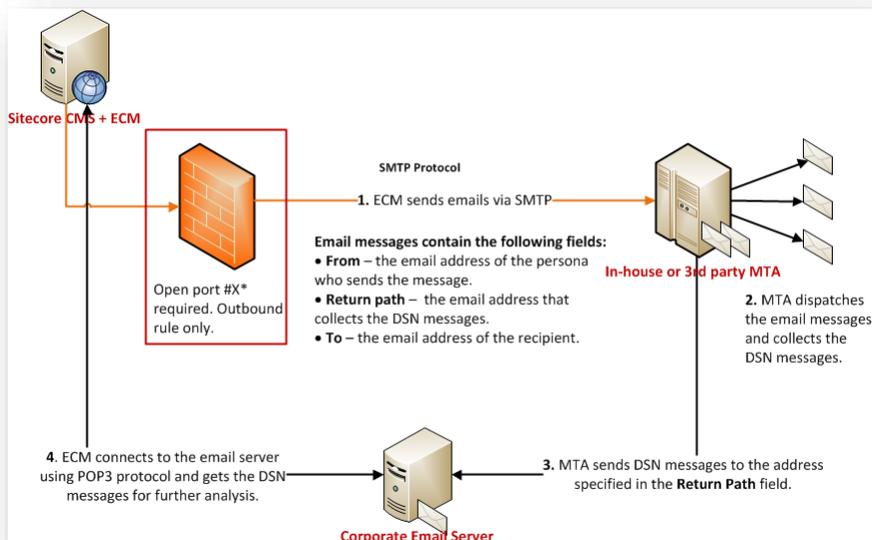
SAC は ECM に返送されたメッセージについての情報を提供します。

この接続向けに、ファイアウォールでポート #80 を許可するインバウンドルールを作成する必要があります。HTTP プロトコルが使用されます。

6.1.2 カスタムの MTA の使用

このセクションでは、カスタムの MTA を使用する場合における発送プロセスの原則について説明します。

以下の図は、発送プロセスの手順の詳細と必要な設定について示します。



一般的な環境には次のコンポーネントが含まれます。

- ファイアウォールが配置された Sitecore CMS 上にインストールされた ECM モジュール
- 社内の SMTP サーバー

次のリストは、発送プロセス中に発生するイベントと、手順に関連する設定について説明します。

手順 1. ECM モジュールは MTA サーバーに電子メール メッセージを送信します。

ECM モジュールは、`Sitecore.EmailCampaign.config` ファイルの設定を使用して、電子メール メッセージを MTA サーバーに送信します。

この接続のために、ファイアウォールでポート #X 使用する送信の規則を作成する必要があります。SMTP プロトコルが使用されます。

手順 2. MTA は受信者に電子メール メッセージを送信します。

手順 3. MTA サーバーは企業の電子メール アドレス宛てに DSN メッセージを送信します。

SMTP サーバーは DSN メッセージを [Return Address] フィールドで指定されたアドレス宛てに送信します。通常このアドレスは、企業の電子メール サーバー上でホストされます。

手順 4. ECM モジュールは電子メール サーバーに接続し、分析を深めるために DSN メッセージを取得します。

POP3 プロトコルがこの接続のために使用されます。DSN メッセージの収集についての追加情報は、セクション「**配信状態通知の収集**」を参照してください。

6.2 発送プロセス

発送プロセスは、次のいずれかのイベントが発生した場合に開始します。発送プロセスを開始する条件は他にもありますが、これらが最も一般的な条件です。

- ユーザーが **[発送]** タブを使用してメッセージの送信を開始した場合
- スケジュールされた発送時刻に到達した場合
- ユーザーが **[発送]** タブの **[再開]** をクリックした場合
- メッセージが後で送信されるようにスケジュールされている場合に、スケジュールをキャンセルしてユーザーが **[発送]** タブの **[メッセージを今、送信する]** をクリックしてメッセージの送信を開始した場合
- 電子メール キャンペーン of メッセージを送信 アクションがトリガーされた場合

発送プロセスがトリガーされた場合、次のアクションが実行されます。

Sitecore MTA を使用する場合、モジュールは Sitecore App Center に接続し、メッセージを一括送信するために電子メール配信サービスを購入していることを確認し、メッセージを送信する際に使用する SMTP サーバーの設定を取得します。

`UseLocalMTA` 設定が `true` に設定されている場合、モジュールは固有の MTA の使用がライセンスで許可されているかどうかを確認します。

モジュールが Sitecore App Center を確認した後、`DispatchNewsletter` パイプラインが開始されます。次のセクションでは、このパイプラインのプロセッサについて説明します。

6.2.1 DispatchNewsletter パイプライン

`DispatchNewsletter` パイプラインは、`Sitecore.EmailCampaign.config` ファイルで定義されます。このセクションでは、このパイプラインのプロセッサについて説明します。また、メッセージを生成するプロセスについての概要も説明します。

このセクションでは、ニュースレターメッセージを送信することを仮定して説明を記載しています。このメッセージタイプはモジュールの機能の大部分を使用するためです。

CheckPreconditions

このプロセッサは、メッセージの送信を開始するために必要な条件がすべて満たされているかどうかを確認します。

MoveToProcessing

このプロセッサは、メッセージの状態を `[下書き]` から `[送信しています]` に変更します。

DeployAnalytics

このプロセッサは、メッセージに関連するアナリティクス定義のワークフロー状態（エンゲージメント プラン、キャンペーン、対象の MV テスト）を 配置済み に変更し、定義をアナリティクス データベースに保存します。

CD サーバー上へのアナリティクス デプロイメントの自動化

`Analytics.DefaultDefinitionDatabase` 設定の値が `master` と異なる場合（たとえば、CD インスタンス上で `web` に設定されているなど）、発送が開始された直後に（厳密には、`DeployAnalytics` プロセッサが実行された後に）、アナリティクス関連の定義アイテム（キャンペーン、エンゲージメント プラン）がパブリッシュされることを確認します。これによってアナリティクス データの正確な追跡を確実にします。

これを自動化するには、次の方法を使用することを推奨します。

1. **自動パブリッシュ アクション** (`/sitecore/system/Workflows/Sample Workflow/Approved/Auto Publish`) をアナリティクス ワークフローの 配置済み 状態に追加します (`/sitecore/system/Workflows/Analytics Workflow/Deployed`)。
2. `Web.config` ファイルの `/configuration/sitecore/databases/` 設定で、ワークフロー プロバイダの定義をデフォルト定義データベース (CD サーバー上では、ほとんどの場合 `web` データベースです) に追加します。

```
<database id="web" singleInstance="true" type="Sitecore.Data.Database, Sitecore.Kernel">
...
<workflowProvider hint="defer" type="Sitecore.Workflows.Simple.WorkflowProvider,
Sitecore.Kernel">
<param desc="database">$(id)</param>
<param desc="history store" ref="workflowHistoryStores/main" param1="$(id)"/>
</workflowProvider>
...
```

QueueMessage

このプロセッサで、Master サーバーは、アナリティクス データベースに購読者のオートメーション状態レコードを作成します（購読者ごとにひとつのオートメーション状態を作成します）。

メモ

このプロセッサが突然停止した場合（たとえば、サーバーが再起動するなど）、すべてのオートメーション状態は再度作成されます。

LaunchDedicatedServers

Master サーバーは、専用サーバー上で `DispatchNewsletter` パイプラインを開始します。専用サーバー上の Web サービスは、パイプラインでこの手順と、`MoveToProcessing` プロセッサ、さらにスキップするのが適切な手順をスキップします。

Master サーバーおよび専用サーバーは同じアナリティクス データベースを共有します。

SendMessage

このプロセッサで、Master サーバーと専用サーバーは、メッセージを生成して送信します。

このプロセッサで、次のアクションが実行されます。

プロセッサはアナリティクス データベースのリストからコンタクト情報を取得します。

各サーバーは購読者のリストにアクセスし、未処理の購読者の一人を取得してメッセージを生成します。リストに購読者がいる限りプロセスは継続されます。

すべての購読者に対して、プロセッサは次の処理を実行します。

- 適切なオートメーション状態をメッセージに割り当てます。
- 購読者に対応する Sitecore ユーザーをメッセージに割り当てます。
- *subscriber:assigned* イベントを起動します。
- メッセージに対応するページをリクエストします。
 - ユーザーをリクエストするページのコンテキスト ユーザーとして設定します。セキュリティ制限が適用されます。
- “メッセージ開封済み” 画像を追加します。
- プロセッサは SendEmail パイプラインを開始し、そのパイプラインで次のことが行われます。
 - ページはパーソナライズされます。
 - メッセージは Sitecore.EmailCampaign.config ファイルで定義された MTA に送信されます。

リストに購読者が残っている限りプロセスは継続されます。

MoveToSent

このプロセッサは、メッセージの状態を [送信しています] から[送信済み] に変更します。

NotifyDispatchFinished

このプロセッサは、発送プロセスが終了した場合に通知を送信します。

FinalizeDispatch

このプロセッサは、ラウンドロビン MV テストプロセスの内部変数を削除し、SMTP サーバーへの残っている接続を閉じます。

6.2.2 SendEmail パイプライン

SendEmail パイプラインは `Sitecore.EmailCampaign.config` ファイルで定義されます。SendMessage プロセッサは、すべての電子メール メッセージに対してこのパイプラインを開始し、送信します。このセクションでは、このパイプラインのプロセッサについて説明します。

FillEmail

このプロセッサは、メッセージにパーソナライゼーションを実装します。

SendEmail

このプロセッサは、電子メール メッセージを `Sitecore.EmailCampaign.config` ファイルで定義された MTA に送信します。

Chapter 7

アドバンスド ユーザー ガイド

この章では、特定のイベントが発生した場合にメッセージを送信するために、管理者がモジュールを構成するための必要なアクションについて説明します。

この章には次のセクションがあります。

- 特定のイベントが発生した場合にメッセージを送信する

7.1 特定のイベントが発生した場合にメッセージを送信する

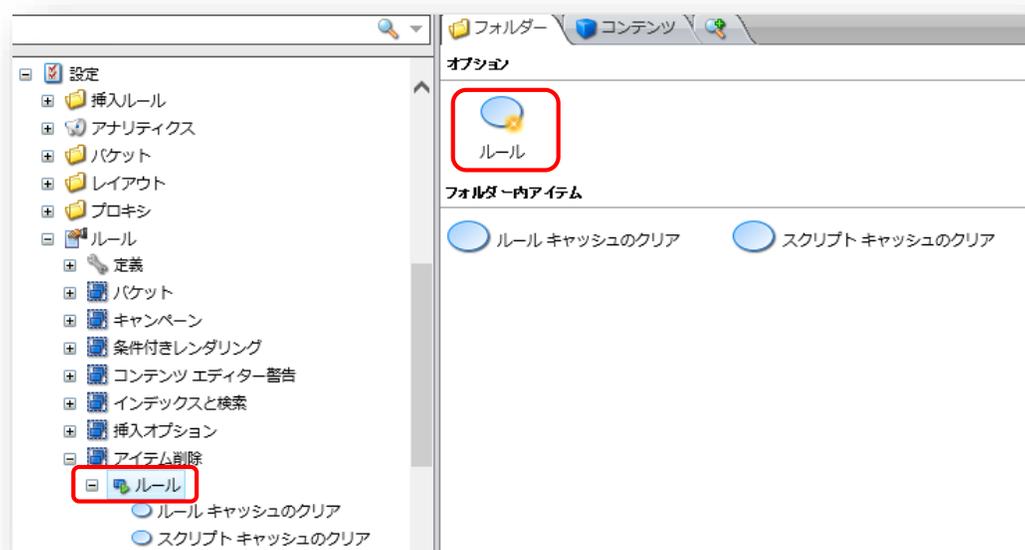
電子メールを配信ルール エンジン アクションを使用して、特定のイベントが発生した場合にメッセージを送信します。

たとえば、このセクションでは次の動作の実装方法について説明します。

- アイテムを削除します。
- Sitecore はこのアイテムが特定のテンプレートに基づくかどうかを確認します。
- 特定のテンプレートに基づく場合は、メッセージを送信します。

これを実装するルールを作成するには、次の手順に従います。

1. /sitecore/system/Settings/Rules/Item Deleted/Rules フォルダーに移動します。
2. [フォルダー] タブで、[ルール] をクリックします。

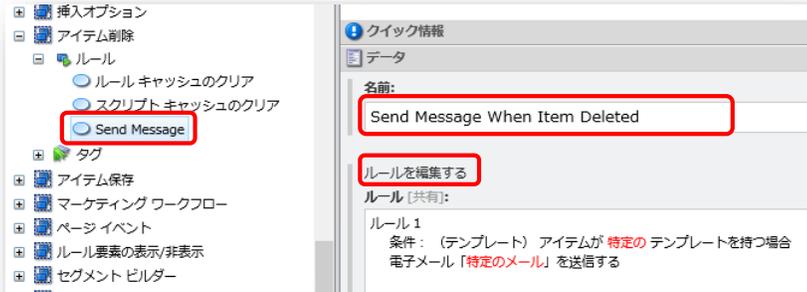


3. ダイアログ ボックスに、新しいルールの名前を入力し、[OK] をクリックします。

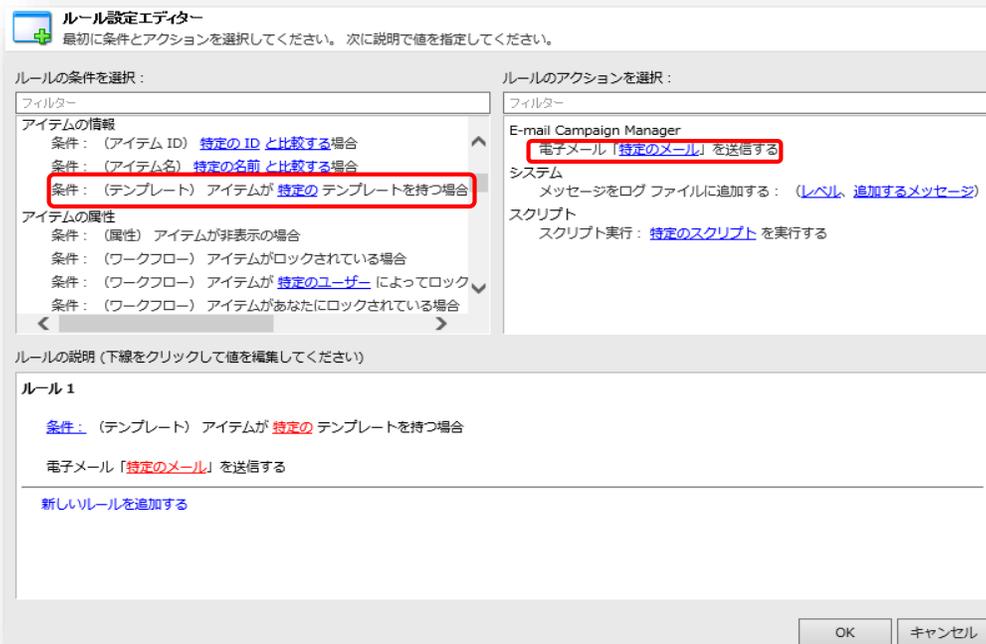


Sitecore は新しいルールを作成します。

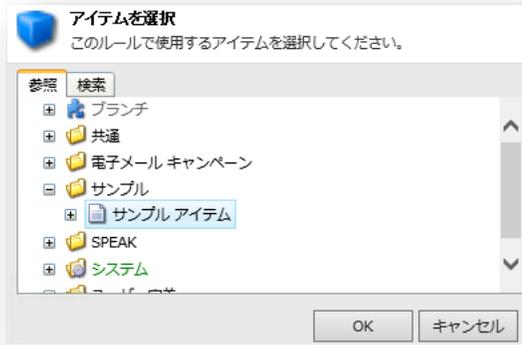
4. 新しいルールを選択します。ルールの名前を入力し、[ルール] フィールドの [ルールを編集する] をクリックします。



5. [条件: (テンプレート) アイテムが特定のテンプレートを持つ場合] 条件と、[電子メール「特定のメール」を送信する] アクションを選択します。

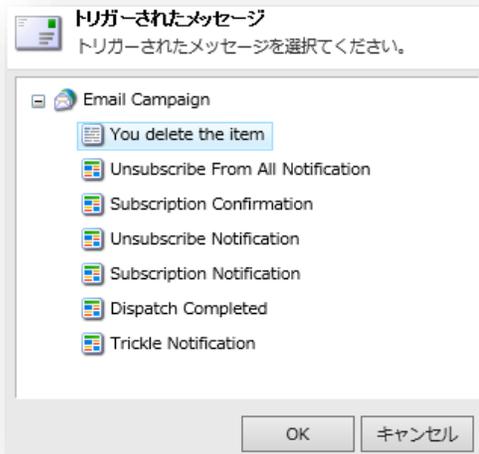


6. **[ルールの説明]** フィールドで **[条件: (テンプレート) アイテムが特定のテンプレートを持つ場合]** 条件の **[特定の]** をクリックすると、**[アイテムを選択]** ダイアログ ボックスが開きます。



ルールの条件として使用するテンプレートを選択し、**[OK]** をクリックします。

7. **[ルールの説明]** フィールドで **[電子メール「特定のメール」を送信する]** アクションの **[特定のメール]** をクリックすると、**[トリガーされたメッセージ]** ダイアログ ボックスが開きます。



送信したいメッセージを選択します。**[OK]** をクリックします。

8. これで、[**ルールの説明**] フィールドは次のように表示されます。



9. [**OK**] をクリックします。

10. ルールを保存します。

これでルールが新しく設定されました。指定されたテンプレートに基づくアイテムが削除された場合、Sitecore はメッセージを送信します。

重要

ECM は有効な トリガーされたメッセージのみを送信します。

Chapter 8

ヒントと秘訣

この章では、IIS ユーザー認証と、ECM からのリクエストの検出方法について説明します。

この章には次のセクションがあります。

- ECM からのリクエストの検出
- IIS アクセス
- \$name\$ トークンの使用方法
- コード サンプル

8.1 ECM からのリクエストの検出

ページのレイアウトに、リクエストがメッセージの本文を生成するための ECM からのリクエストか、または通常のページのリクエストであるかを認識させることができます。

これを行うには、レイアウトで次のブール値を返すメソッドを使用します。

```
Sitecore.Modules.EmailCampaign.Util.IsMessageBodyRequest()
```

メソッドが `true` を返す場合、ECM はメッセージの本文を要求しています。そうでなければ、通常のページの要求です。

8.2 IIS アクセス

Web サイトが IIS レベルで認証を要求する場合、適切な IIS ユーザー認証用の資格情報を `Sitecore.EmailCampaign.config` ファイルの次の設定で指定することができます。

設定名	値の例	説明
IIS.User	serviceuser	匿名アクセスが無効化されている場合に、ログインするために使用するログイン名。
IIS.Password	12345	匿名アクセスが無効化されている場合に、ログインするために使用するログイン名のパスワード

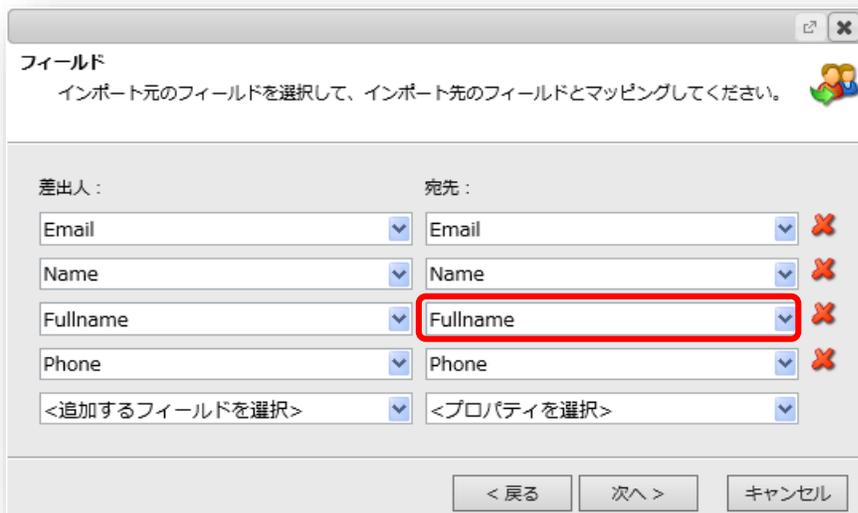
匿名アクセスが IIS で有効な場合は、これらの設定を空白のままにできます。

8.3 \$name\$ トークンの使用方法

トークンを購読者のプロフィールからの適切な値に置換えることができます。\$name\$トークンは、Profile.Name プロパティの値と置換えられます。

ただし、デフォルトではこのフィールドは API でのみ有効です。

受信者インポートユーザーウィザードでこのプロパティを設定することができます。



代わりに、API を使用して変更することができます。

```
Sitecore.Security.Accounts.User user =
Sitecore.Security.Accounts.User.FromName ("Emailcampaign\\SubscriberNumberOne", true);
user.Profile.Name = "First Name";
user.Profile.Save ();
```

または、Name フィールドをユーザープロフィールに追加することができます。例えば次のプロフィールアイテムに追加します。

core:/sitecore/system/Settings/Security/Profiles/Subscriber

この場合、ユーザーマネージャーのプロファイルセクションで Name プロパティを編集することができます。

8.4 コード サンプル

このセクションには、複数のコード サンプルが含まれます。このコード サンプルを使用して、シンプルなカスタムの電子メールの作成方法、ニュースレターの購読/購読取り消し方法、ECM メッセージを 1 通送信する方法についての理解を深めます。

8.4.1 シンプルなカスタム電子メールの作成

```
{
  using Sitecore.Modules.EmailCampaign.Messages;
  /// <summary>
  /// Code sample of creating simple custom email
  /// </summary>
  public class CreateMessageExample
  {
    /// <summary>
    /// Create message
    /// </summary>
    /// <param name="messageName">name of the message</param>
    /// <param name="templateId">id of the Message template you want to use</param>
    /// <param name="typeId">id of the Message Type item (example: /[manager root]/Message
    Types/Adhoc/Default)</param>
    public void CreateMessage(string messageName, string templateId, string typeId)
    {
      MessageItemSource.Create(messageName, templateId, typeId);
    }
  }
}
```

8.4.2 ニュースレターの購読

```
{
  using Sitecore.Modules.EmailCampaign;
  /// <summary>
  /// Code sample of subscribe/unsubscribe for newsletter in the ECM API document
  /// </summary>
  public class SubscribeExample
  {
    /// <summary>
    /// Subscribe user to specific Recipient List
    /// </summary>
    /// <param name="username">
    /// user name
    /// </param>
    /// <param name="receptientListId">
    /// id of the Receptient List
    /// </param>
    /// <param name="confirmSubscription">
    /// whether you need to send confirmation
    /// </param>
    public static void SubscribeToRecipientList(string username, string receptientListId, bool
    confirmSubscription)
    {
      var targetAudiencesInfo = new[]
      {
        new TargetAudienceInfo
        {
          ID = receptientListId,
          CustomData = "1"
        }
      };
    }
  };
}
```

```
        ClientApi.UpdateSubscriptions(username, targetAudiencesInfo, confirmSubscription);
    }
    /// <summary>
    /// Unsubscribe user from specific Recipient List
    /// </summary>
    /// <param name="username">
    /// user name
    /// </param>
    /// <param name="receptientListId">
    /// id of the Receptient List
    /// </param>
    /// <param name="confirmSubscription">
    /// whether you need to send confirmation
    /// </param>
    public static void UnSubscribeFromRecipientList(string username, string receptientListId, bool
confirmSubscription)
    {
        var targetAudiencesInfo = new[]
        {
            new TargetAudienceInfo
            {
                ID = receptientListId,
                CustomData = "0"
            }
        };
        ClientApi.UpdateSubscriptions(username, targetAudiencesInfo, confirmSubscription);
    }
}
```

8.4.3 ECM メッセージを 1 通送信

```
using Sitecore.Modules.EmailCampaign;
using Sitecore.Modules.EmailCampaign.Messages;
/// <summary>
/// Sample for sending ECM message to single e-mail
/// </summary>
public class SendExample
{
    /// <summary>
    /// Send message to a single recipient
    /// </summary>
    /// <param name="messageItemId">ID of the message's item you want to send</param>
    /// <param name="userName">full name of the Sitecore User who will be message's
recipient</param>
    public void Send(ID messageItemId, string userName)
    {
        MessageItem message = Sitecore.Modules.EmailCampaign.Factory.GetMessage(<message item
id>);
        Contact contactFromName = Contact.FromName(userName);
        new AsyncSendingManager(message).SendStandardMessage(contactFromName);
    }
}
```

メモ

このコード サンプルは、標準またはトリガーされたメッセージにのみ適用できます。この API は、ワンタイム メッセージなどのように、受信者リストが割り当てられる共通のキャンペーン メッセージには使用できません。